

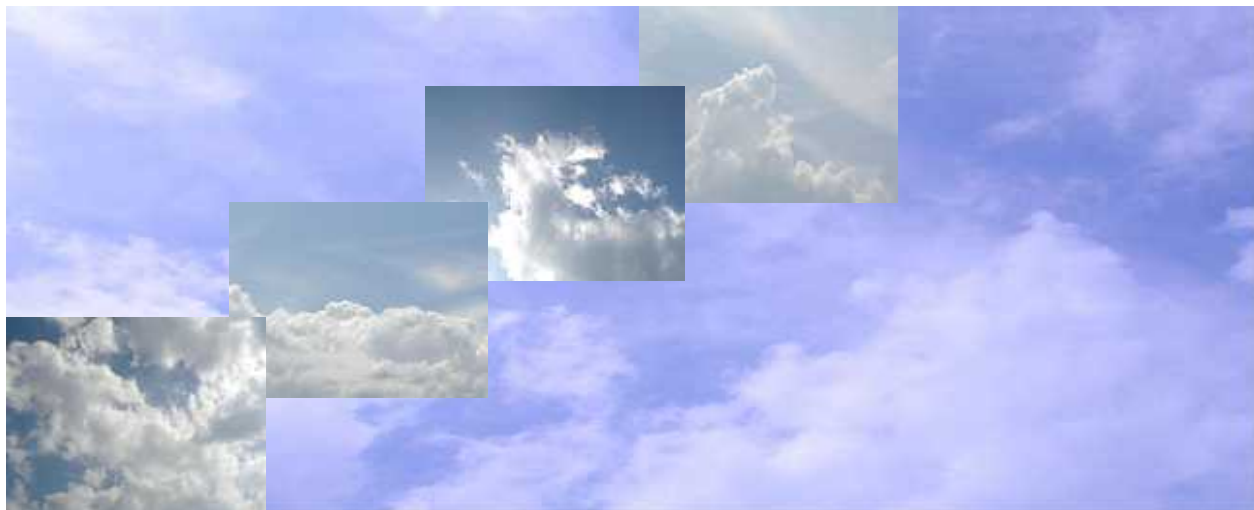
図面作成要領  
( 図面 ・ 数量連動 )



東広島市下水道部下水道建設課

# CAD図面標準仕様書

【開削・推進編】 H22.02



# 目 次

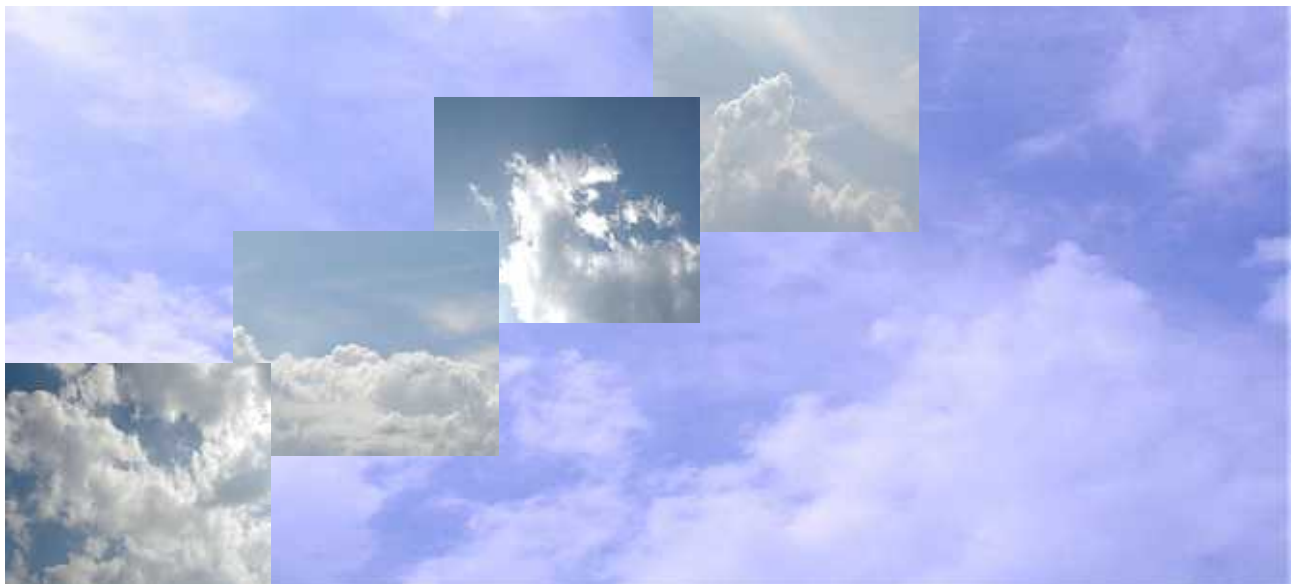
|       |          |       |    |
|-------|----------|-------|----|
| 第 1 章 | 標準化の概要   | …………… | 3  |
| 第 2 章 | 前提条件     | …………… | 10 |
| 第 3 章 | 横断図標準化仕様 | …………… | 17 |
| 第 4 章 | 平面図標準化仕様 | …………… | 22 |
| 第 5 章 | 縦断図標準化仕様 | …………… | 26 |



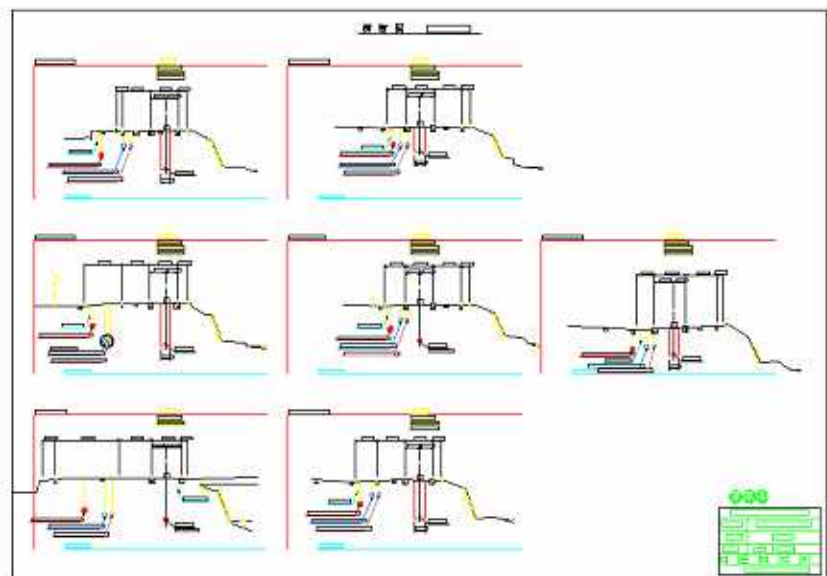
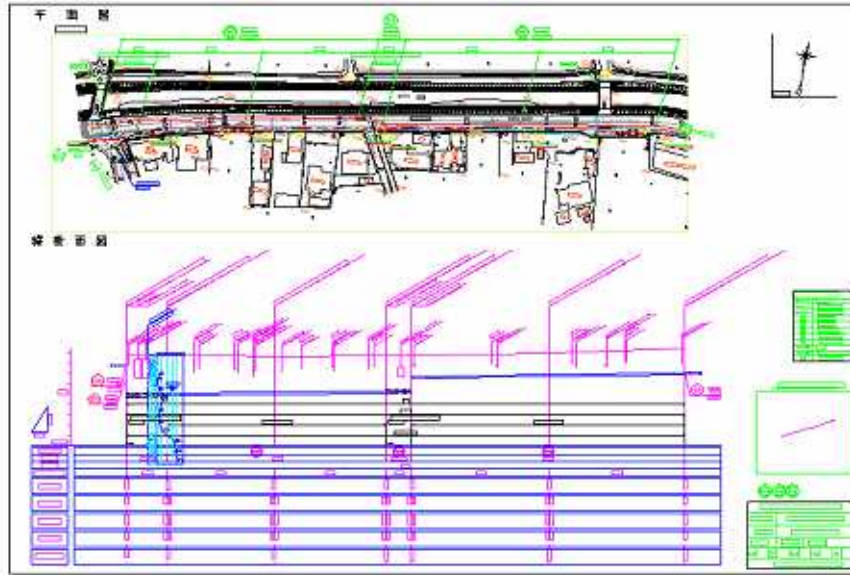
# 第 1 章 標準化の概要

ここでは、標準化の概要と図面作成の方法について記述します。

|         |   |
|---------|---|
| 1. 概 要  | 4 |
| 2. 図面機能 | 5 |
| (1)横断図  | 5 |
| (2)平面図  | 6 |
| (3)縦断図  | 7 |
| (4)樹    | 9 |



# 第 1 章 1. 概要

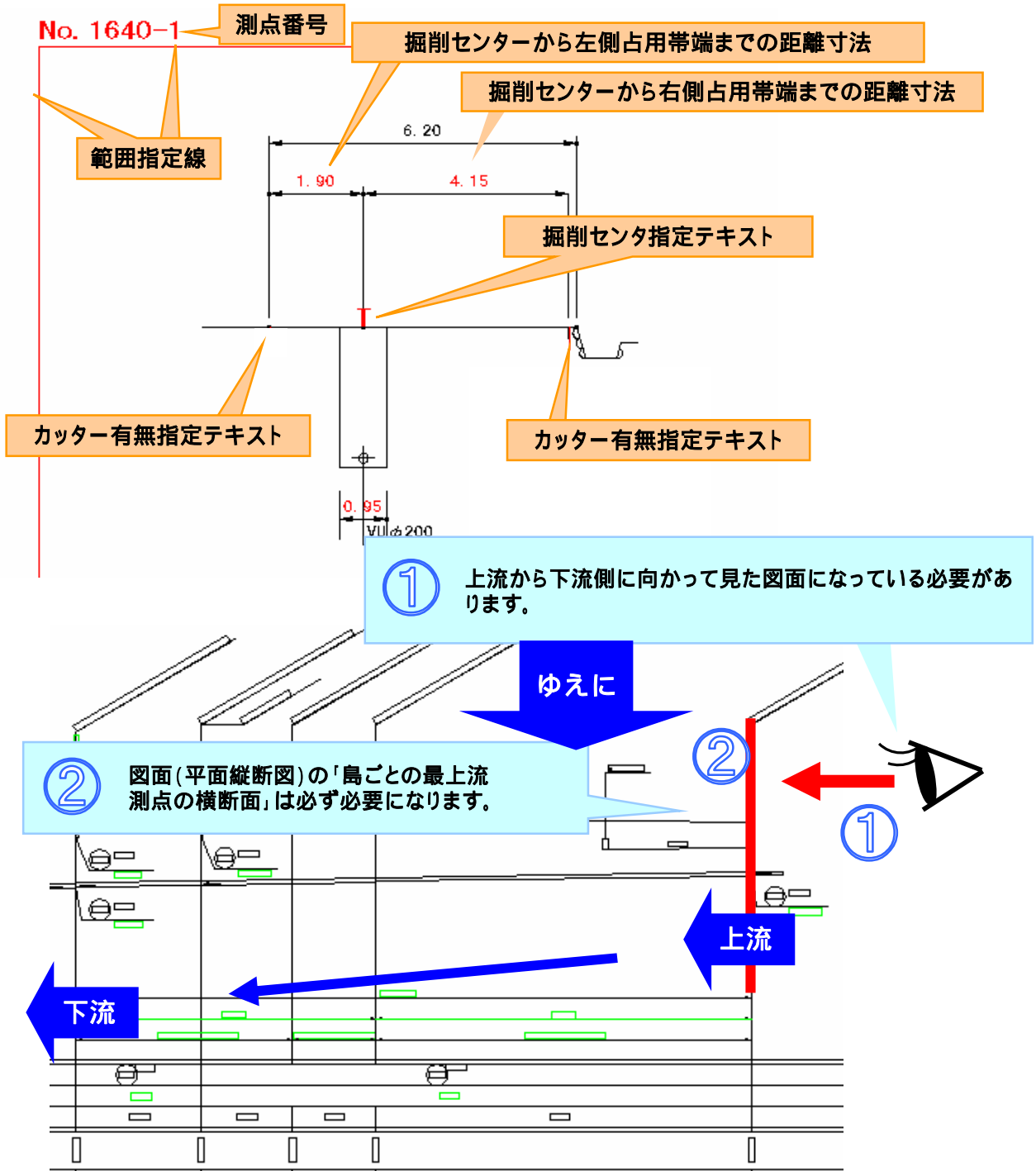


# 第 1 章 2. 図面機能 (1) 横断図

ここでは、「図面上の必要情報」と「樹情報」の解説、  
また、基本的な条件がある図面については、それらの条件を解説しています。

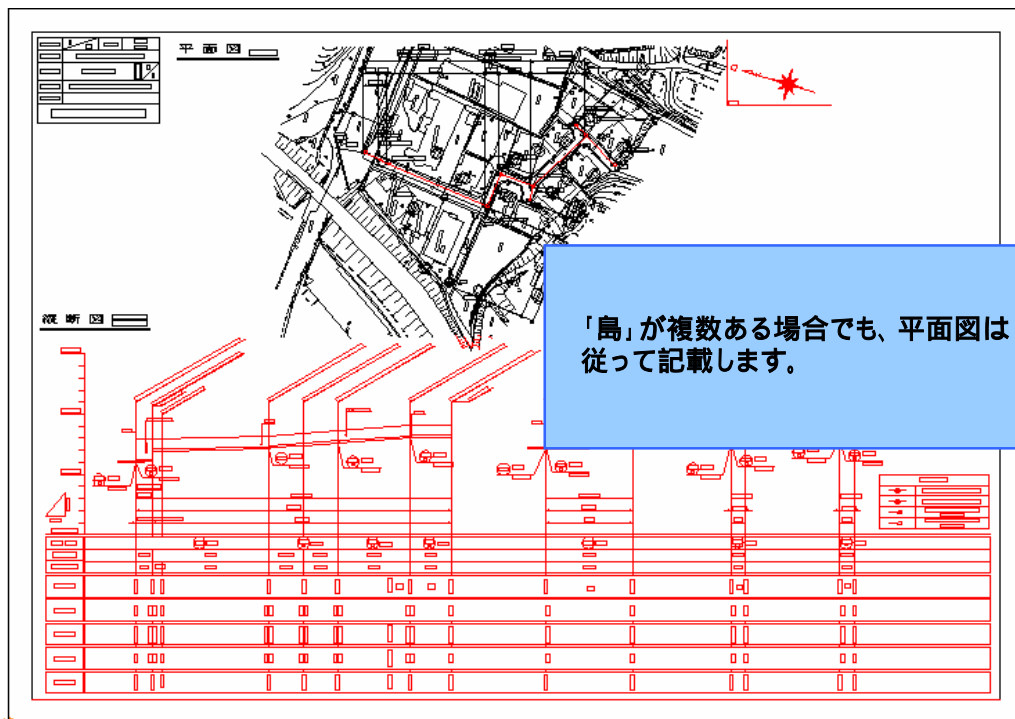
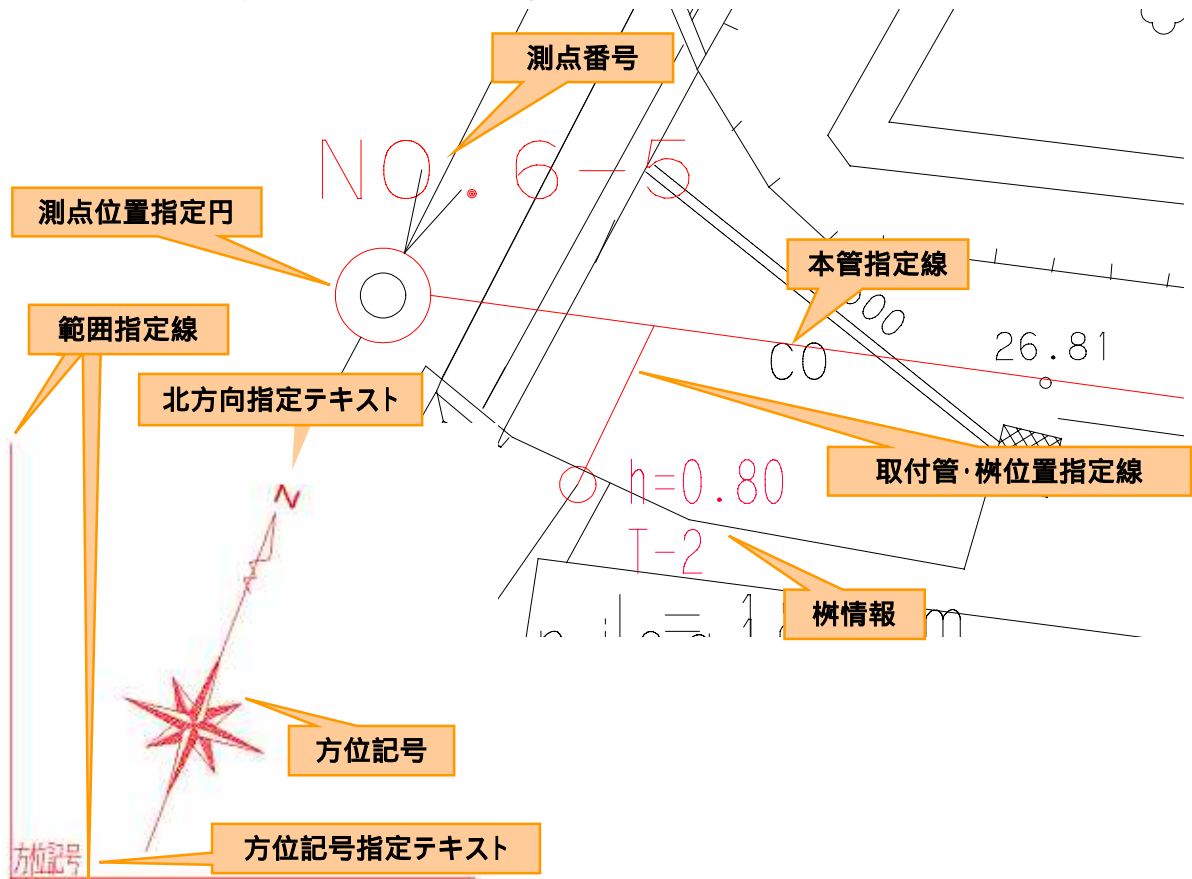
## (1) 横断図

横断図の作成は、以下によって行います。



(2) 平面図

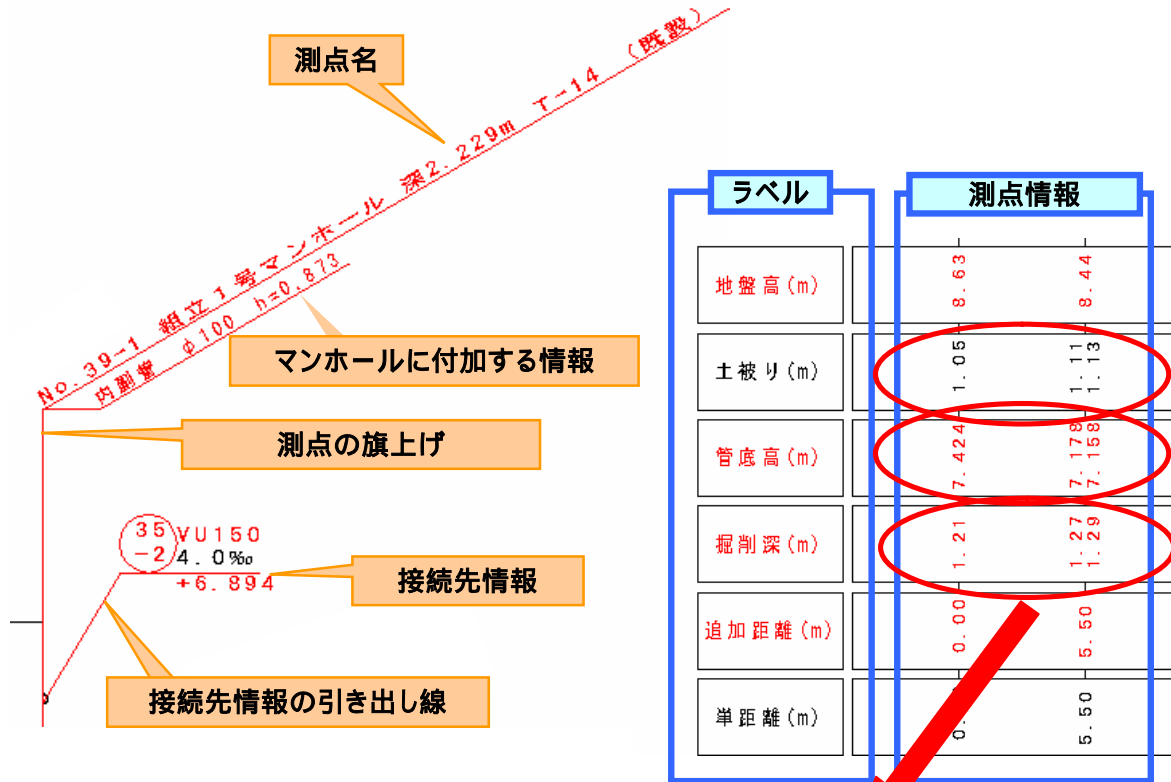
平面図の作成は、以下によって行います。



# 第 1 章 2. 図面機能 (3) 縦断面図

## (3) 縦断面図

縦断面図の作成は、以下によって行います。



**管底高・掘削深・土被りの数に関**  
マンホールの種類・状況により管底高・掘削深・土被りの数を「1つ書く」あるいは「2つ書く」するのかが決まっています。  
以下の通りに記載してください。

|       |       |
|-------|-------|
| 7.424 | 7.178 |
| 1.21  | 1.27  |
|       | 1.29  |

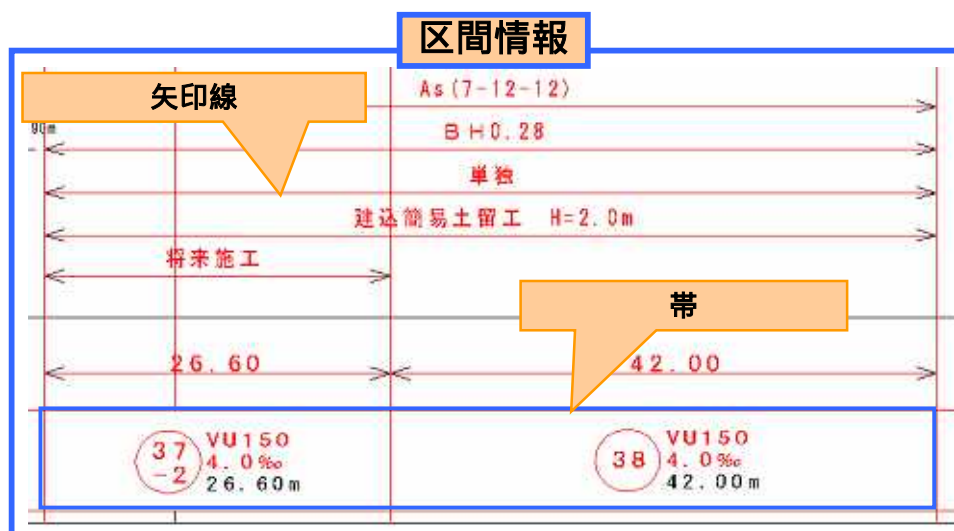
**【1つ書く】**

- ・島の中で最上流・最下流のマンホール
- ・段差の無い塩ビ製小口径マンホール
- ・ダミー測点(マンホールではない測点)

**【2つ書く】**

- ・左記以外
- ・組立マンホール
- ・段差のある塩ビ製小口径マンホール
- ・塩ビ以外の小口径マンホール





【区間情報の記入必須項目】

以下、区間情報の記載が必須な項目です。

- ・路線番号
- ・本管
- ・勾配
- ・区間距離  
(マンホール間距離)
- ・道路種類
- ・土留種類(開削区間のみ)
- ・単独(無い場合は不要)
- ・対象区間(無い場合は不要)
- ・圧送区間(無い場合は不要)
- ・同時埋設区間(無い場合は不要)

【区間情報の記入不要項目】

- ・支保段数
- ・掘削運搬機種
- ・埋戻機種

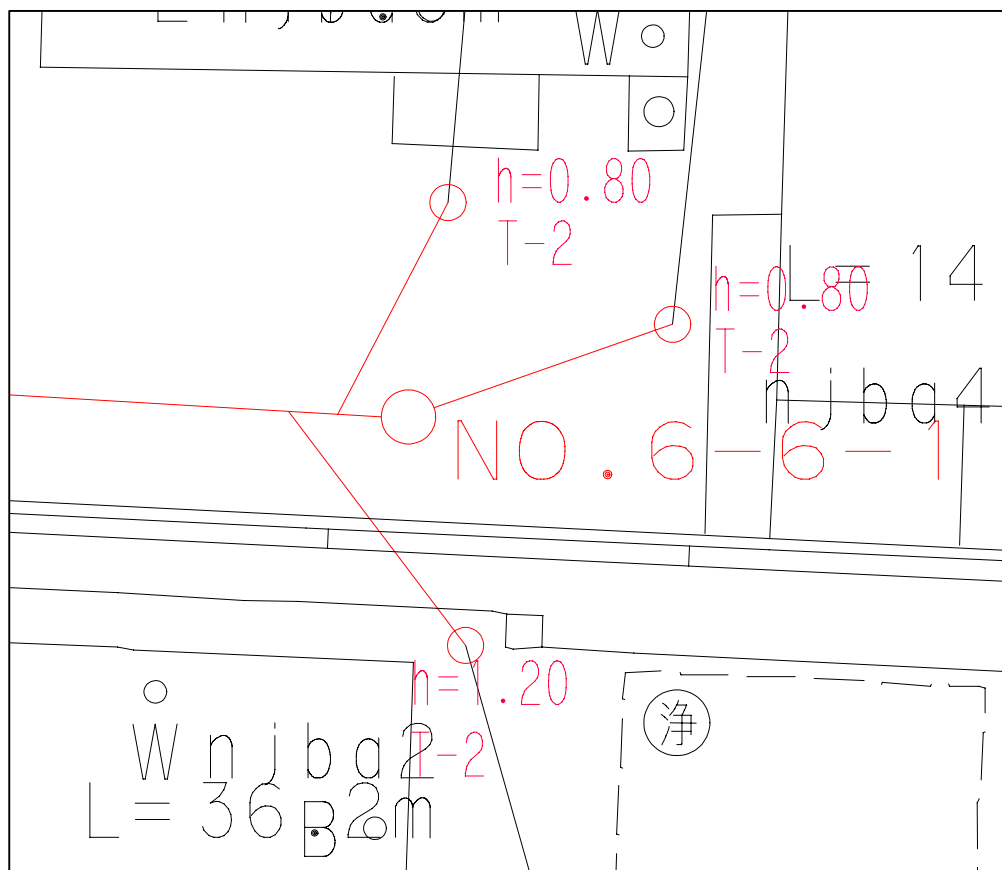
上記「赤字」は、情報の確認(チェック)のために使用します。  
数量には直接関係しませんが、これらを記載することにより、図面記載ミス・データ記述ミスは  
確実になくなります。

## 第 1 章 2. 図面機能 (4) 樹

### (4) 樹

樹の情報は平面図上に記述します。

また、取付管の情報(延長等)は横断面図に記述された情報から取得します。



#### 【樹情報の記入必須項目】

以下、樹情報の記載が必須な項目です。

- ・樹深
- ・縦樹掘削深
- ・樹蓋荷重

# 第 2 章 前提条件

ここでは、CAD図面の前提条件を記述します。  
図面が記載条件に準じて作成されていても、この章の条件から外れると、問題が生じる場合がありますので、ここで述べる前提条件は必ず守ってください。

|                    |    |
|--------------------|----|
| 1. ファイル拡張子         | 11 |
| (1) 使用拡張子          | 11 |
| (2) 文字の互換性         | 11 |
| 2. 図面の前提条件         | 12 |
| (1) 図面の配置          | 12 |
| (2) AutoCAD使用時の注意点 | 13 |
| (3) 文字の記載方法の注意点    | 13 |
| (4) 縮尺             | 13 |
| 3. レイヤの前提条件        | 14 |
| 4. オブジェクトの前提条件     | 16 |



## 第 2 章 1. ファイル拡張子 (1) 使用拡張子 (2) 文字の互換性 (3) 縮尺に関して

ここでは、東広島市標準化において、対応しているファイル拡張子、  
ならびにその注意点を記述しています。  
使用しているCADファイルの拡張子と互換性があるかを確認してください。

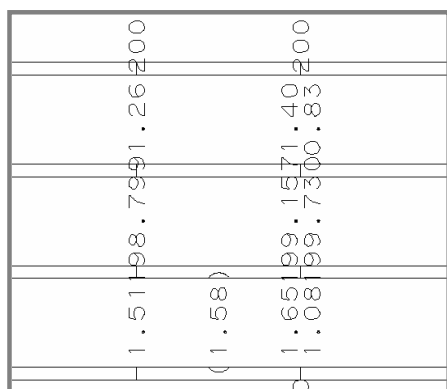
### (1) 使用拡張子

| 拡張子     | 主な使用CADソフト |
|---------|------------|
| P21・SFC | SXFフォーマット  |

上記以外の拡張子で書かれた図面に関しては、線の線種・太さ・色や矢印の  
形状が別々なCADソフト間でやり取りすることで、変わってしまう可能性があります。

### (2) 文字の互換性

CADソフトの互換性の問題で、取り込むと文字のサイズ・位置などが崩れてしまい、  
図面としての機能を果たせなくなったり、情報記述が不能になったりすることがあります。



左図は文字サイズが変わってしまった図面です。

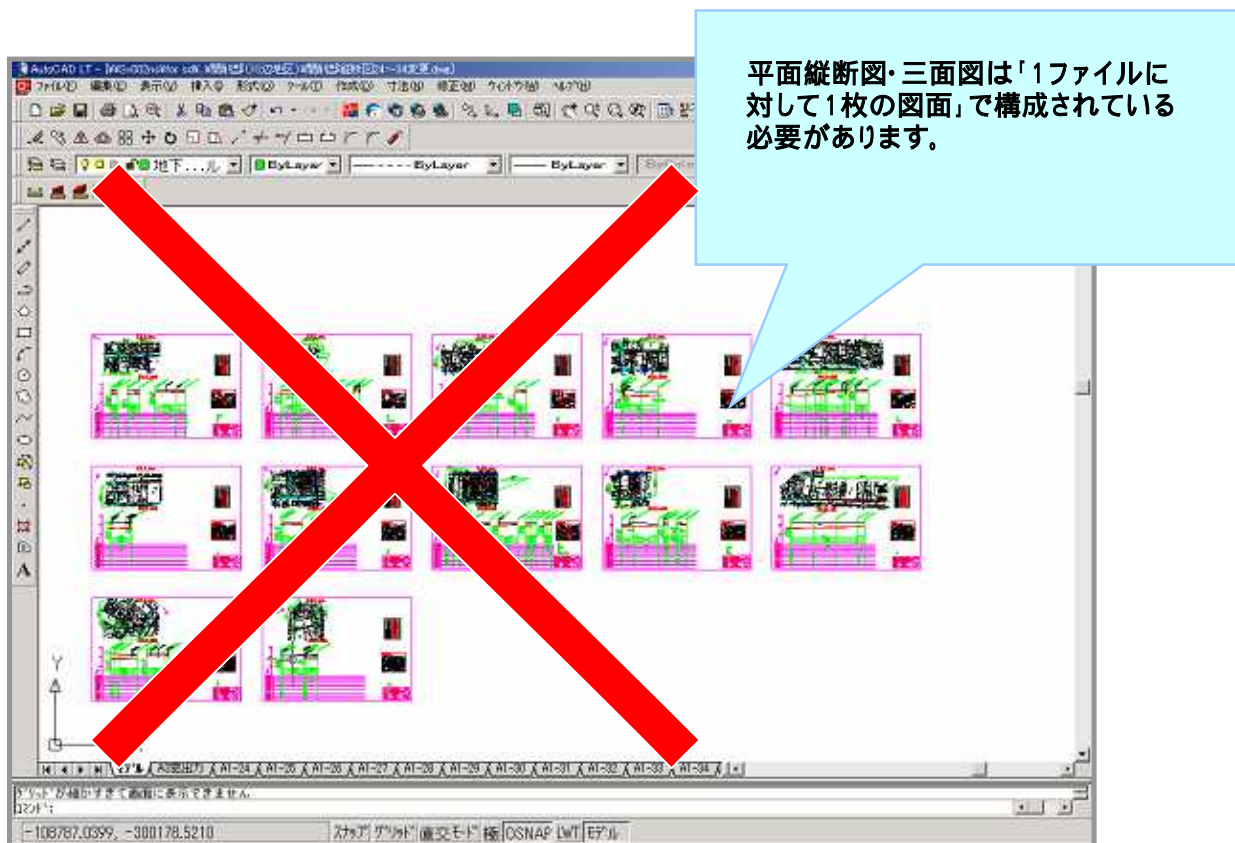
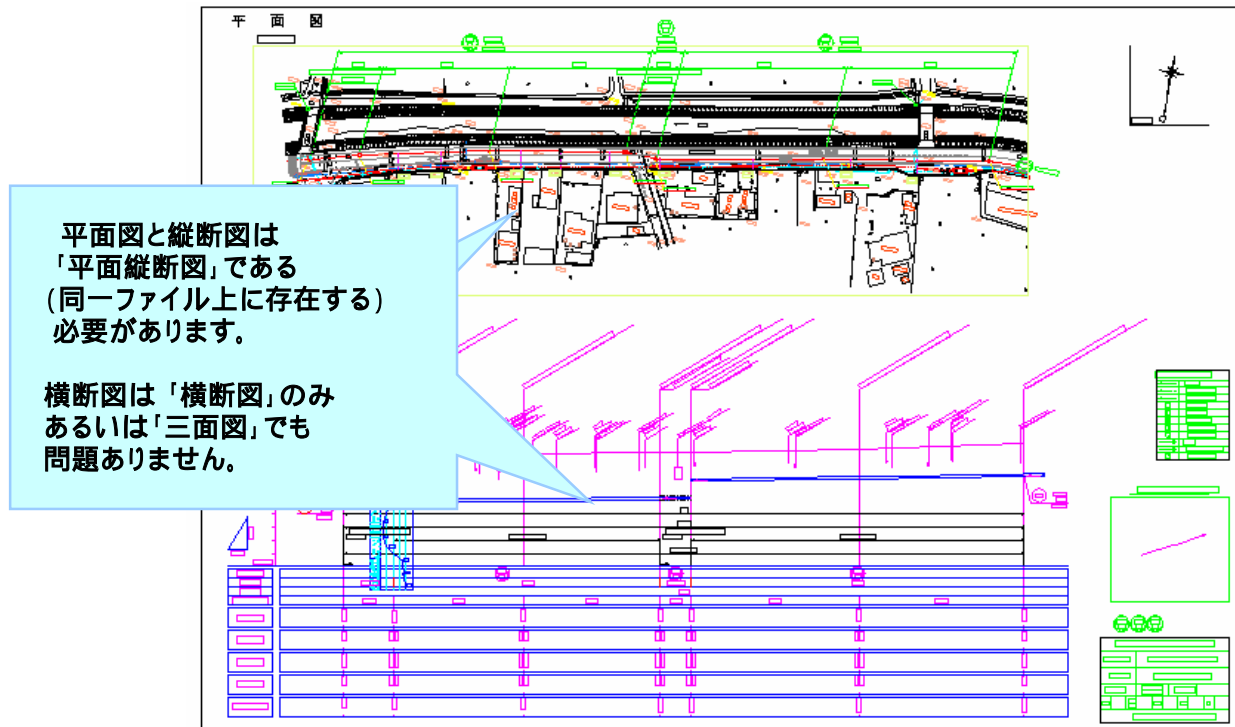
原因として、  
「フォントの互換性と、CADが各々持っている  
文字の表示方式の違い」が考えられます。

よって、図面を書く際には、ゴシック・明朝等、どのCADでも使用できる、OS付属のフォント (truetypeフォント) を指定していただきますと、文字化けは基本的に起こりません。(文字化け例:DXFで使用できないフォントで作図し、DXFで出力した際に文字化けが発生)

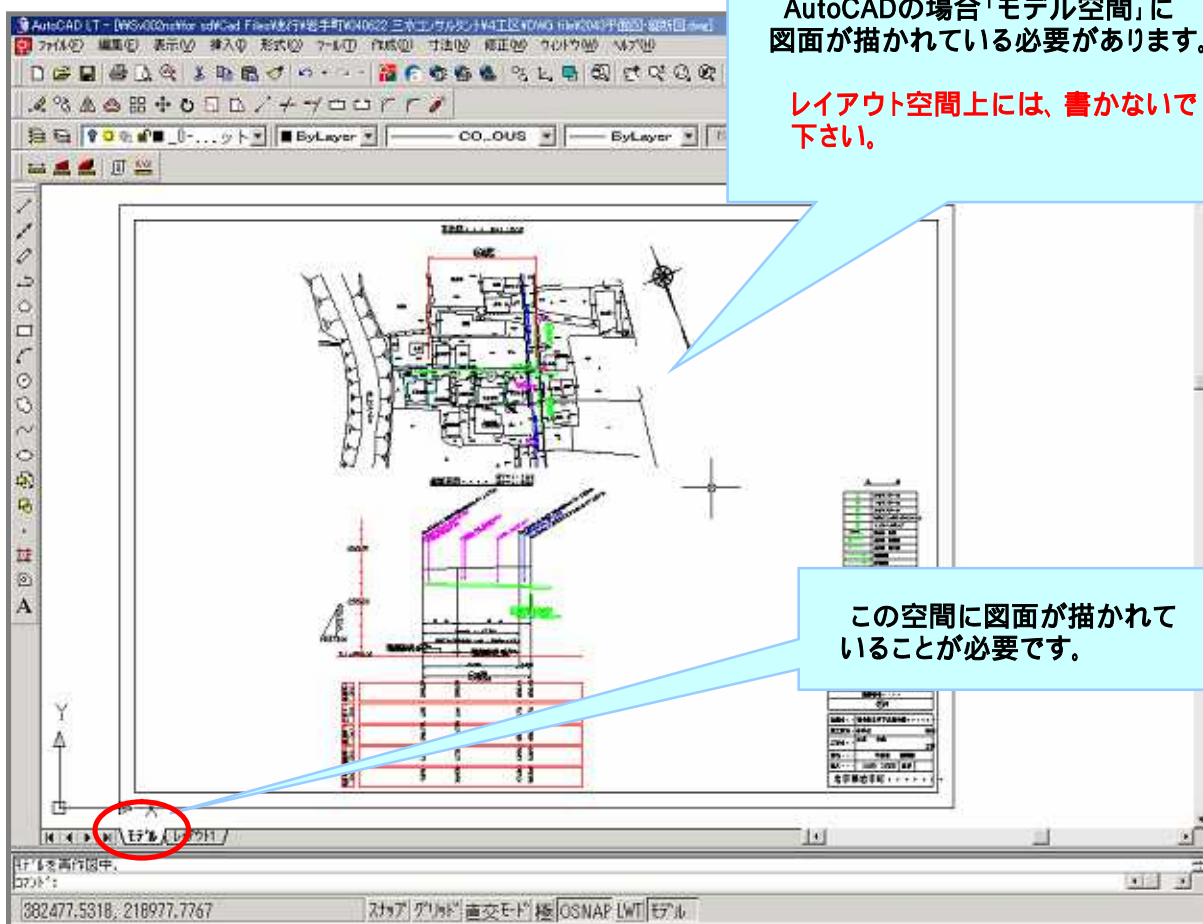
## 第 2 章 2. 図面の前提条件 (1) 図面の配置

### (1) 図面の配置

図面の配置パターンがいくつか指定されています。  
指定された配置方法で図面に記載してください。



(2) AutoCAD使用時の注意点



(3) 文字の記載方法の注意点

記載するそれぞれの文字が一文字列になっている必要があります。  
 以下はその一例です。詳細は第3・4・5章で記述しています。

|          |                                 |     |          |       |
|----------|---------------------------------|-----|----------|-------|
| 【測点情報】   | No.1-1 組立一号マンホール h = 1.252 T-14 |     |          | など... |
|          | 副管                              | 100 | h = 0.78 | など... |
| 【帯のラベル名】 | 地盤高                             |     | 管底高      | 追加距離  |
| 【土留種類】   | 建て込み簡易土留 h = 2.5                |     |          | など... |
| 【本 管】    | VU150                           |     | PE75     | HP300 |
|          |                                 |     |          | など... |

(4) 縮尺

ファイル自体の縮尺情報は基本的に全て1/1を使用します。

## 第 2 章 3. レイヤの前提条件

それぞれの図面の必要な情報を区別するために、  
図面ごとにレイヤ分けする必要があります。  
ここでは、レイヤ分けについて記述します。

記述情報を分けたレイヤ名の末尾に指定の文字を付加してください。

横断図 ……HPO  
平面図 ……HPH  
縦断図 ……HPJ

下図はあくまで一例です。レイヤ構成は自由です。

**【横断図レイヤ (HPO) に必要な情報】**

1. 横断図範囲指定線
2. 測点番号
3. 掘削センターから左側占用帯端までの距離寸法
4. 掘削センターから右側占用帯端までの距離寸法
5. 掘削センターを示すテキスト 文字「T」
6. カッター有指定テキスト 文字「|」
7. カッター無指定テキスト 文字「|」
8. 構造物幅・車道幅

**【平面図レイヤ (HPH) に必要な情報】**

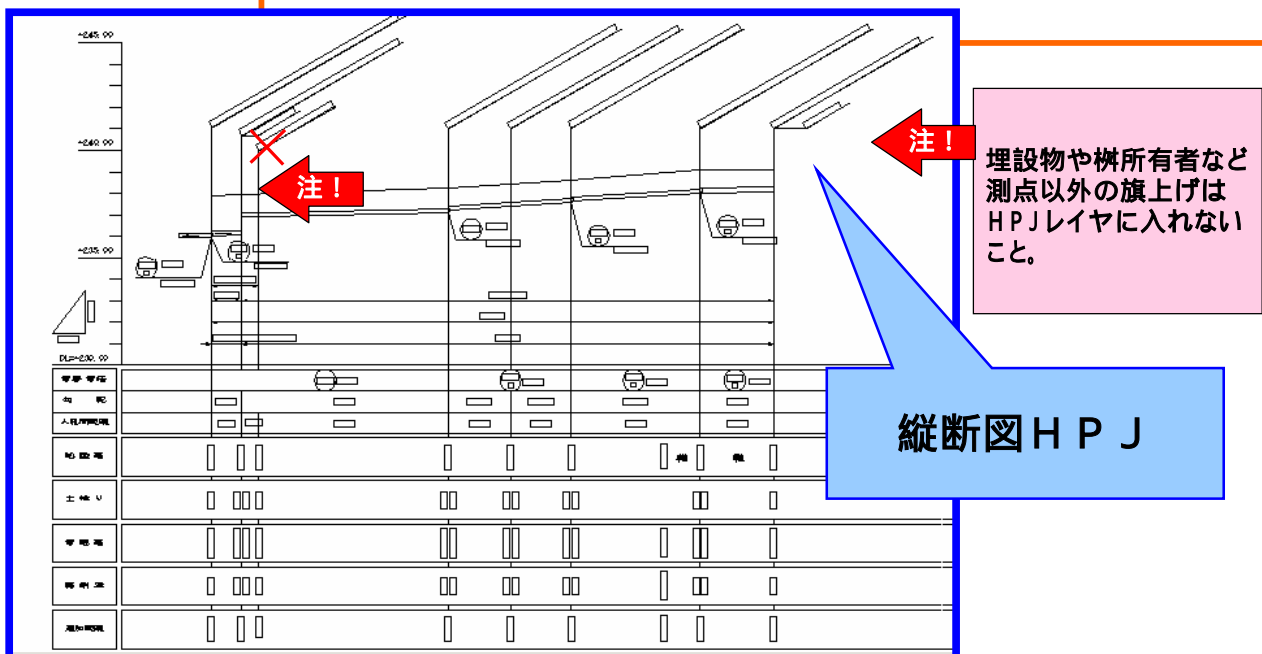
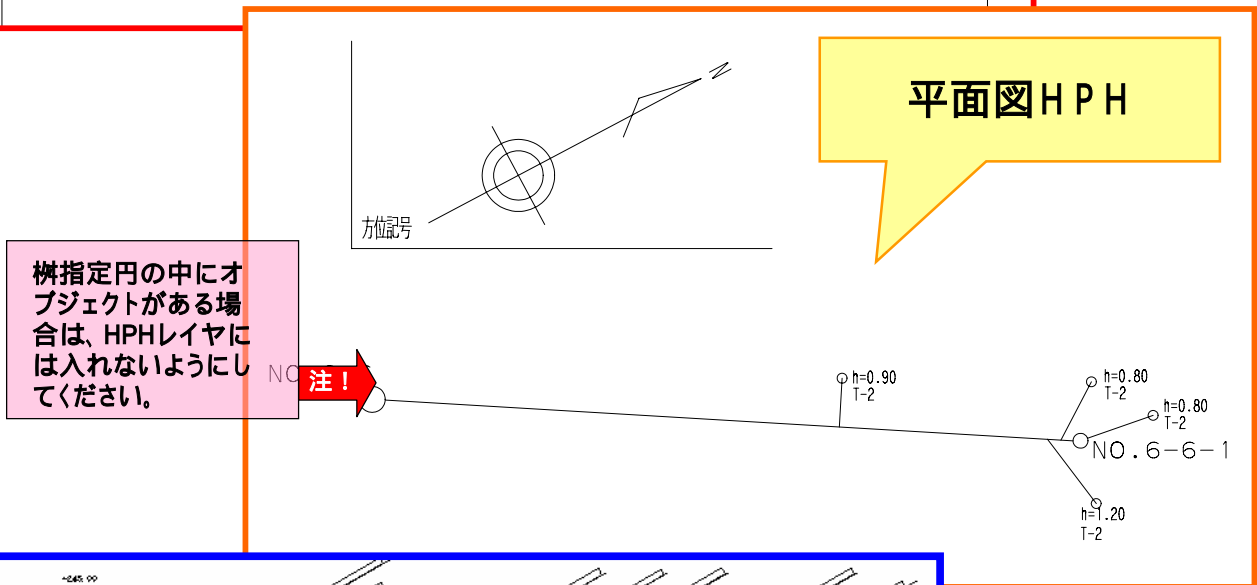
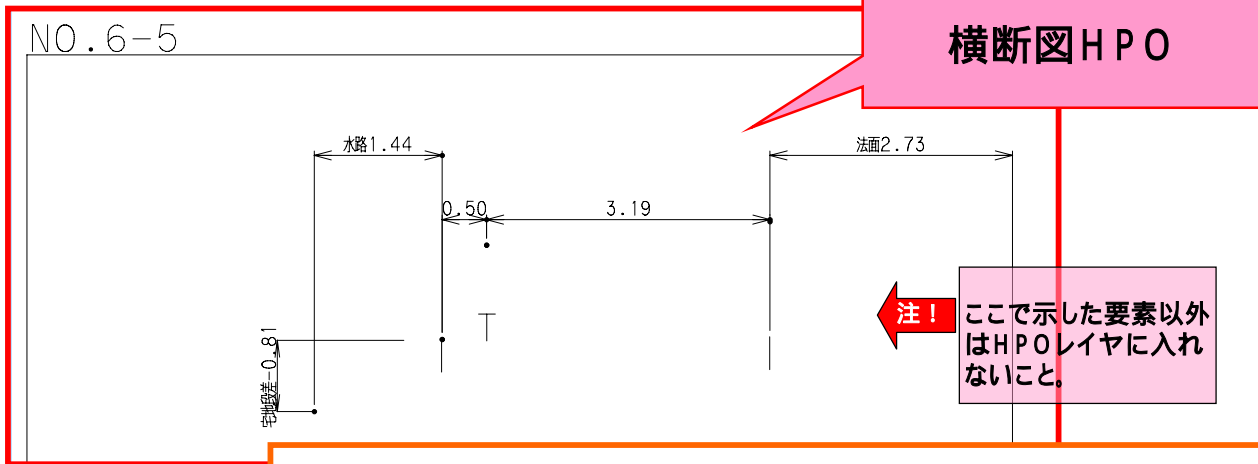
1. 方位記号
2. 方位記号範囲指定線
3. 方位記号指定テキスト 文字「方位記号」
4. 北方向指定テキスト 文字「N」
5. 測点位置指定円 (楕円)
6. 本管指定線
7. 取付管指定線
8. 柵指定円
9. マンホールなどの測点番号
10. 柵情報 (柵深・柵蓋荷重等)
11. 宅地段差

**【縦断図レイヤ (HPJ) に必要な情報】**

縦断図レイヤに関しては縦断図をそのまま入れてください。  
ただし、埋設物や柵所有者など、測点以外の旗上げは  
HPJレイヤに入れしないでください。

## 第 2 章 3. レイヤの前提条件

HPO・HPH・HPJレイヤのみを表示するとそれぞれ以下の通りになります。





## 第 2 章 4. オブジェクトの前提条件

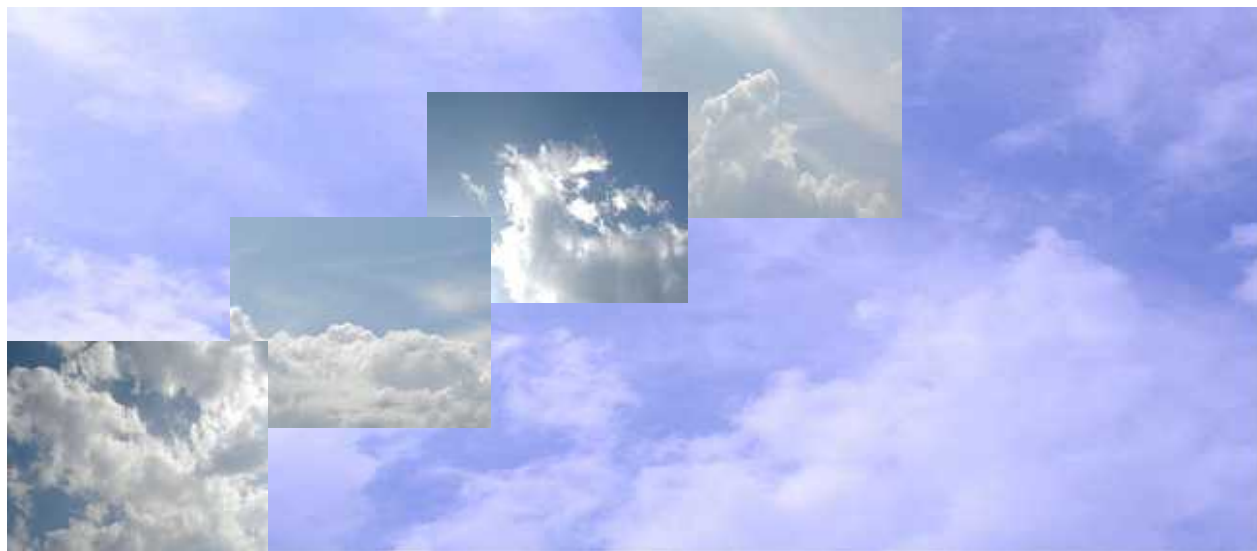
---

「線分・円」といったオブジェクトを基準としておりますのでポリラインで作図しないで下さい。  
作図する段階ではそれらの使用は問題ありませんが、図面を提出する段階では  
ポリラインの線分展開を実行する必要があります。

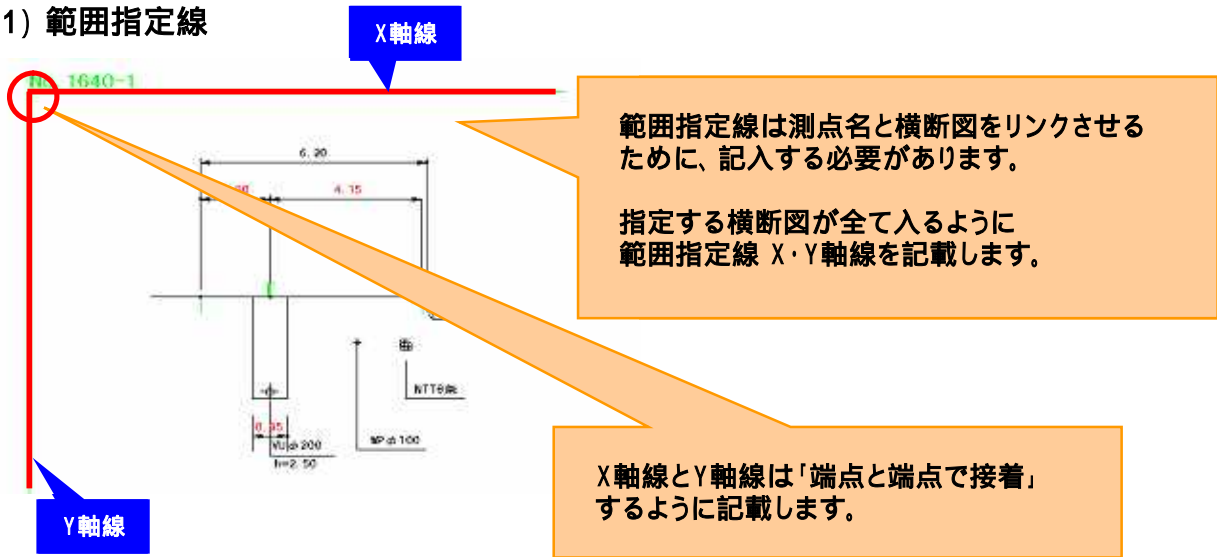
# 第 3 章 横断図標準化仕様

ここでは、横断図の標準化仕様の詳細を記述しています。  
これに従い、必要な条件を満たす横断図を作成してください。

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 1. 本復旧時                     | 18 |
| (1) 範囲指定線                   | 18 |
| (2) 測点番号                    | 18 |
| (3) 掘削センター指定テキスト 文字「T」      | 19 |
| (4) 掘削センターから左・右側占用帯端までの距離寸法 | 20 |
| 2. 全面復旧時                    | 21 |
| (1) カッター有無指定テキスト            | 21 |



(1) 範囲指定線



(2) 測点番号

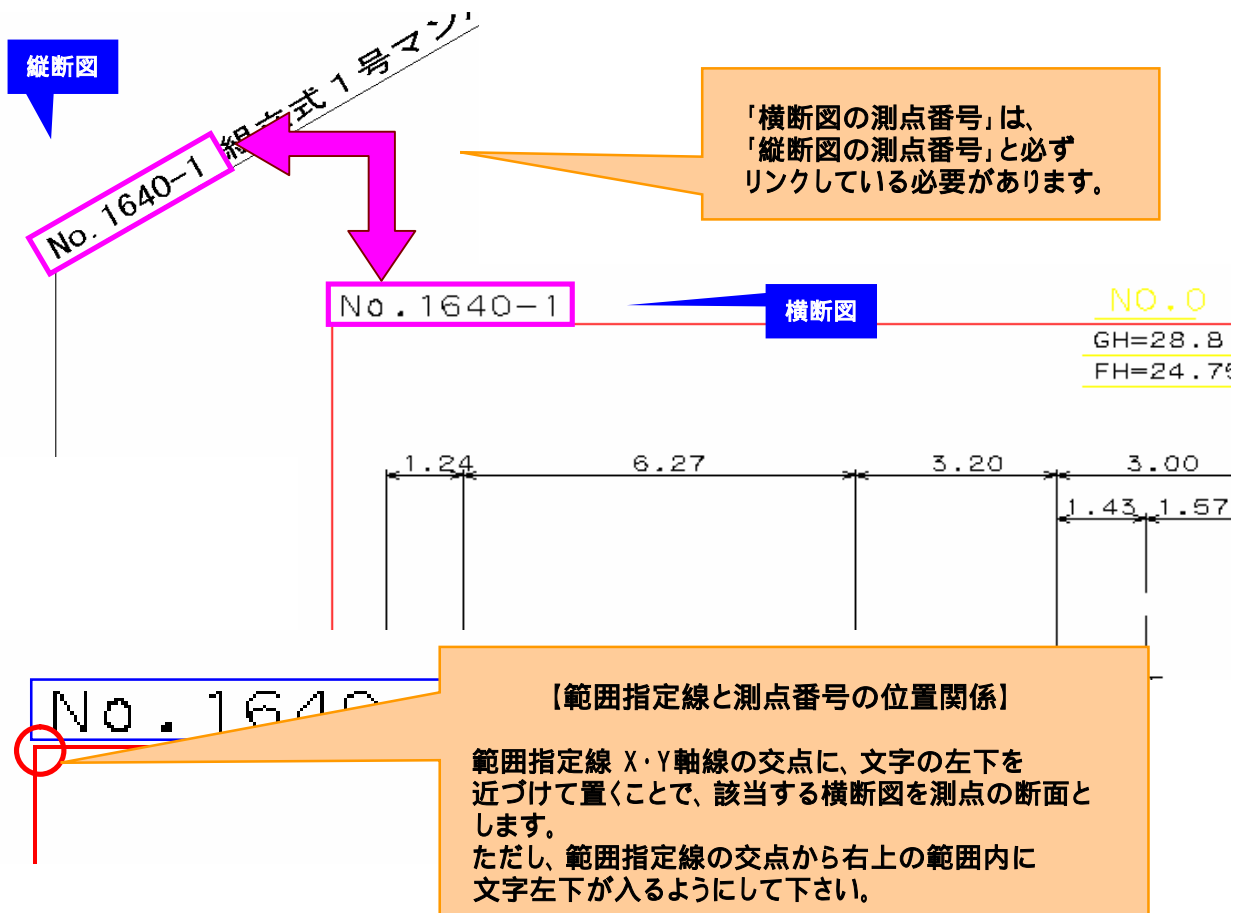
測点番号は、その横断図が「縦断図上のどの測点に該当するか」を指定します。

測点番号は必ず「一文字列」で記載してください。

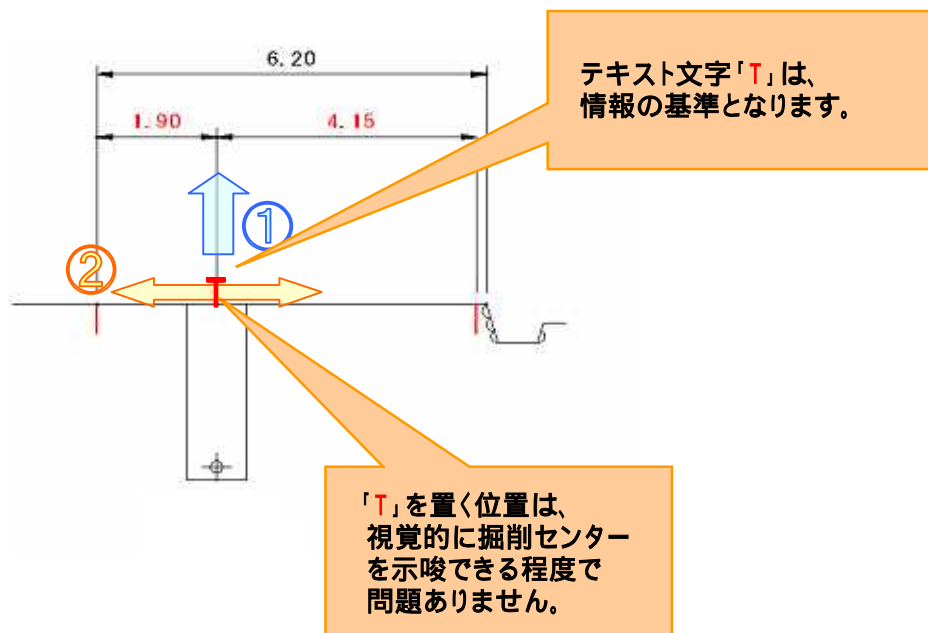
・測点上で横断を起した場合：例. No.1-1

・測点間で横断を起した場合：例. No.1-1+12.00

No.1-1の縦断図測点とリンクします。



(3) 掘削センター指定テキスト 文字「T」



**横断面の数値単位に関して**

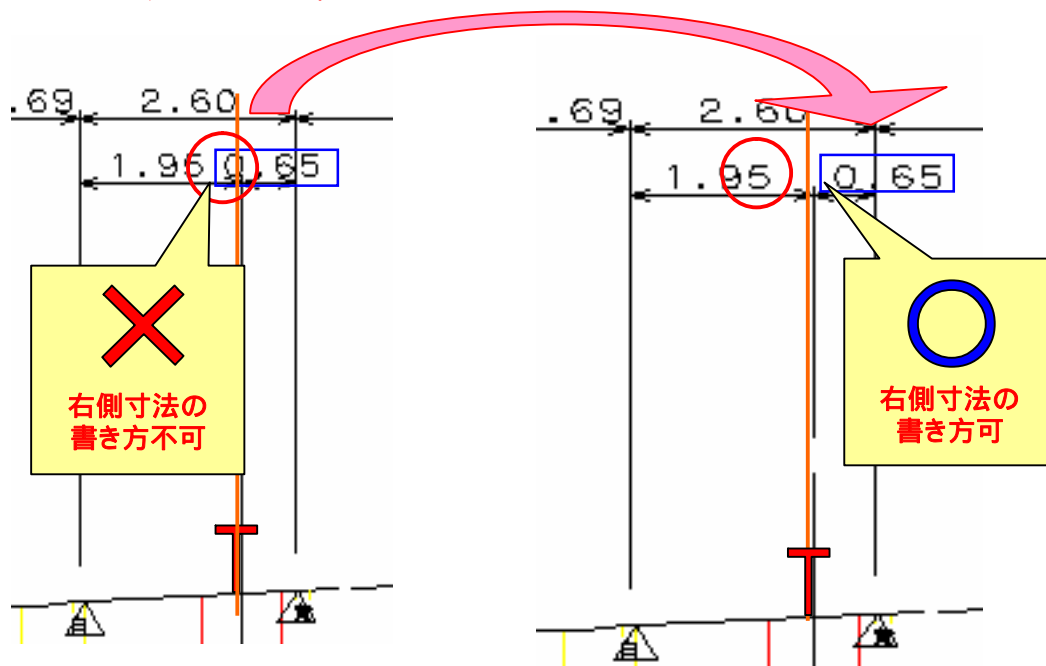
メートル(m)単位で記入して下さい。

**構造物・車道・宅地段差等**

CAD図面標準化東広島市特記仕様書[平縦編]を参照して下さい。

(4) 掘削センターから左・右側占用帯端までの距離寸法

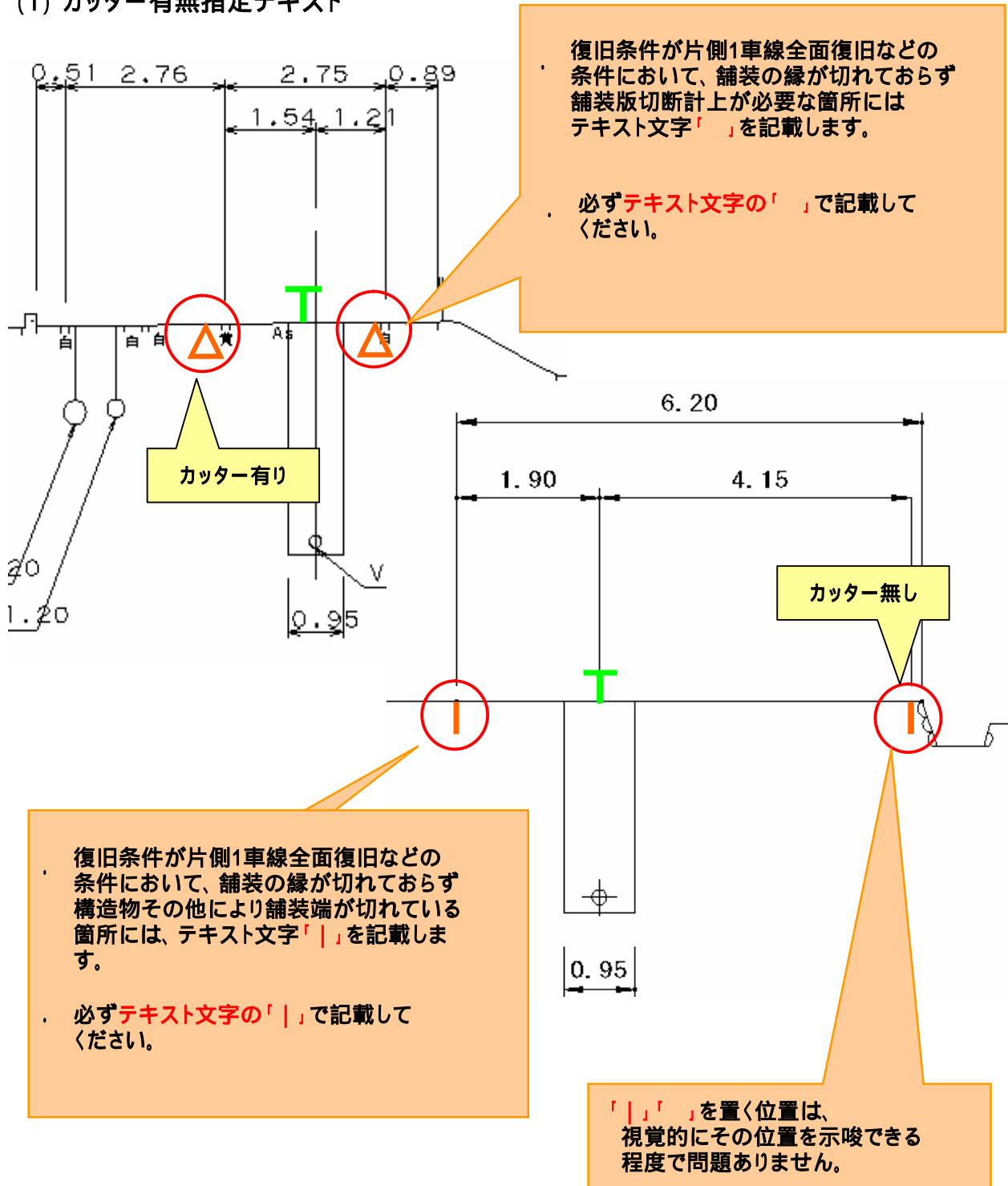
下記のとおり、記入下さい。



掘削センターから左・右側占用帯端までの距離寸法の記載は、必ず「数量計算に実際に用いる幅員部」の左右の寸法を表現します。  
 例 条件が1車線全面復旧なら1車線分の左右寸法

右側寸法の文字の左端(文字の基準点を含む)が、掘削センター「T」よりも、左側にはみ出ないようにします。

(1) カッター有無指定テキスト

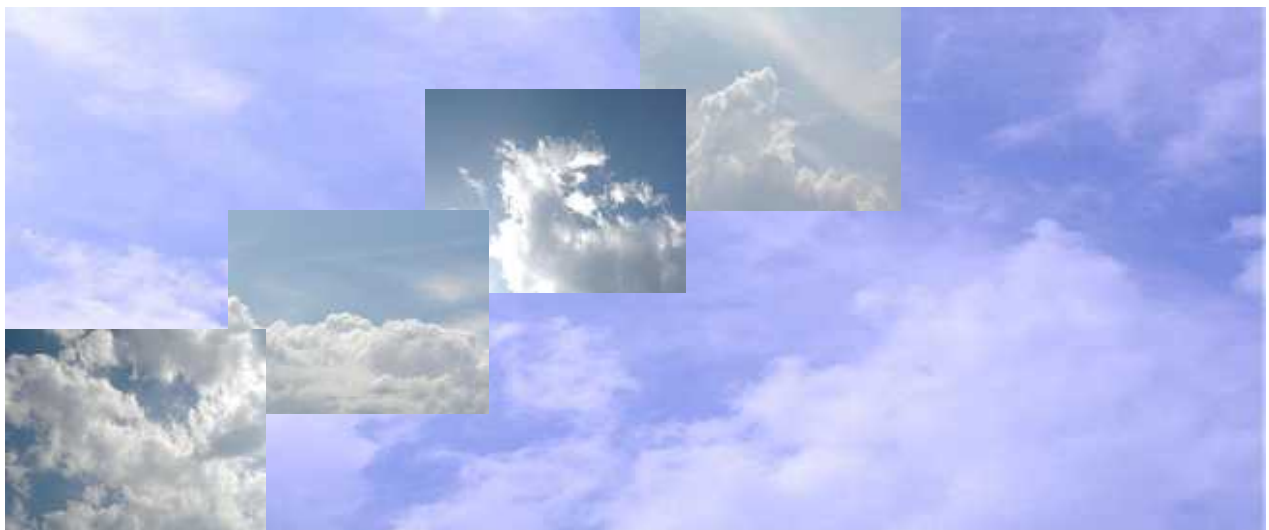


# 第 4 章 平面図標準化仕様

ここでは、平面図の標準化仕様の詳細を記述しています。  
これに従い、必要な条件を満たす平面図を作成してください。

平面図は主に、方位・測点位置・取付管位置を記述します。

|               |    |
|---------------|----|
| 1. 方 位        | 23 |
| (1)方位記号       | 23 |
| (2)範囲指定線      | 23 |
| (3)方位記号指定テキスト | 23 |
| 2. 測 点        | 24 |
| (1)測点指定円(楕円)  | 24 |
| (2)測点番号       | 24 |
| 3. 取付管・桧      | 25 |
| (1)取付管指定線     | 25 |
| (2)桧情報        | 25 |

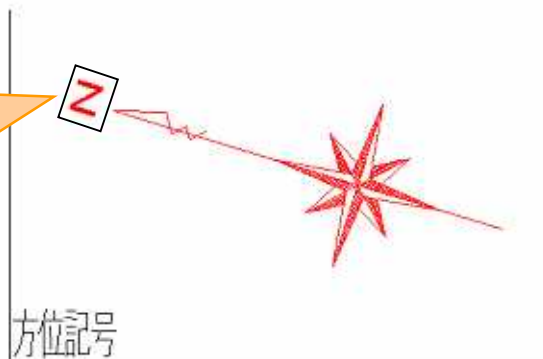


## (1) 方位記号

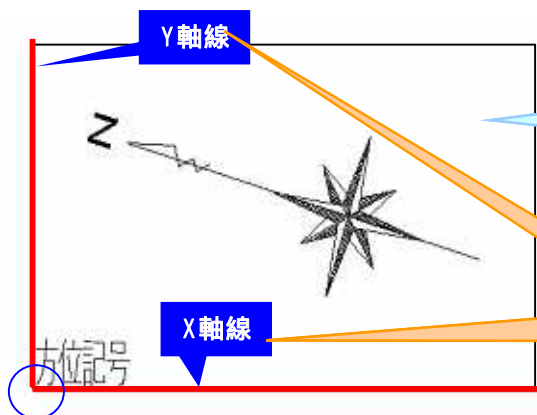
平面図の「方位」を記述します。  
 方位を示すオブジェクトは、「南北方向を示す線分」が表記してあれば問題ありません。

北方向を取得するために  
 方位記号の北側に  
 テキスト文字「N」を  
 記載します。

線分で作成したものは  
 認識不可能です。  
 必ずテキスト文字で  
 「N」  
 を記載してください。



## (2) 範囲指定線



範囲指定線は、方位記号全てが  
 範囲に入るように記載します。

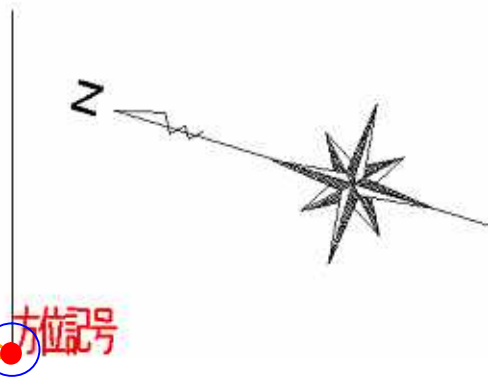
X軸線とY軸線は、端点と端点で接着  
 するように記載します。

## (3) 方位記号指定テキスト

テキスト文字「方位記号」を一文字列で、  
 指定線の範囲内・左下に記載します。

文字の左下を  
 X軸線・Y軸線の接着点に  
 近づけて記載してください。

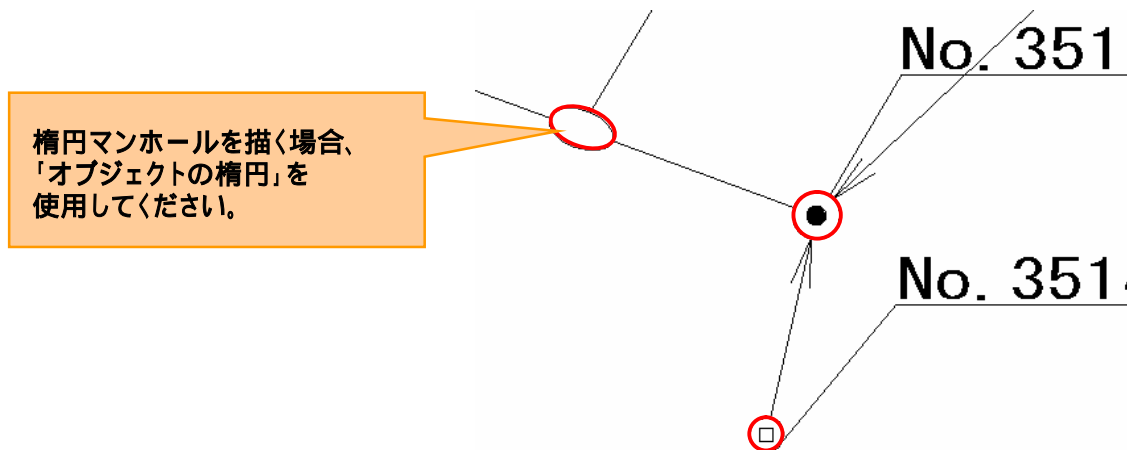
ただし、文字の基準点を  
 X軸線・Y軸線のいずれの上  
 にも置かないでください。





(1) 測点指定円(楕円)

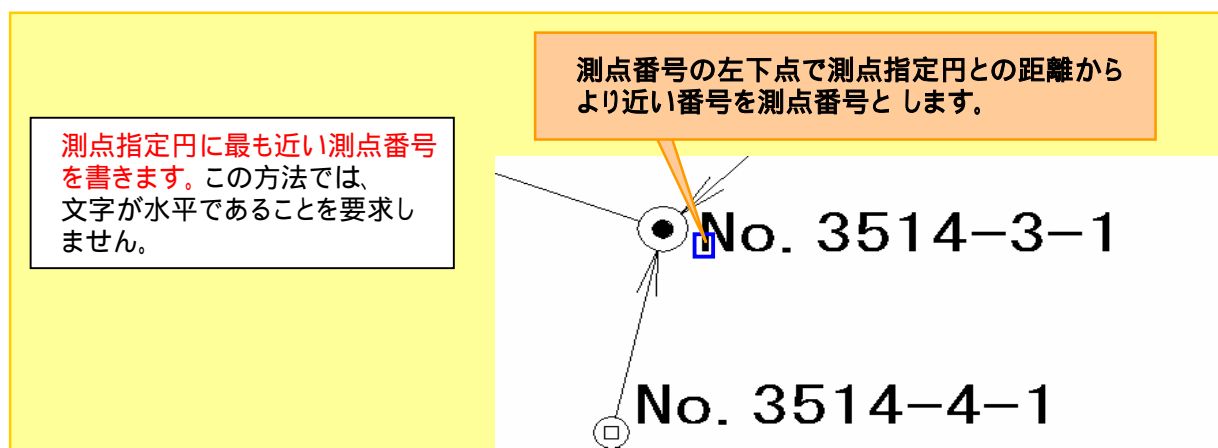
縦断図上に旗上げがある測点は、全て平面図上に記載します。  
 「円」あるいは「楕円」は、単体のオブジェクトでなければいけません。



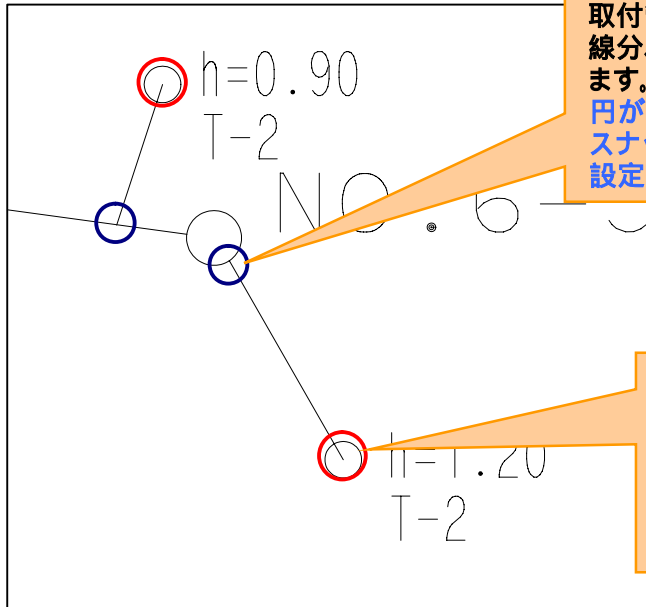
(2) 測点番号

下記の方法で記載してください。

- ・測点番号は縦断図のそれとリンクしている必要があります。
- ・測点番号は一文字列で記載してください。



(1) 取付管指定線



取付管を指定する線の端点を、本管の線分、あるいは測点指定円に接着させます。  
 円が同心円の場合は、一番内側の円にスナップさせるか、内側の円を別レイヤに設定して下さい。

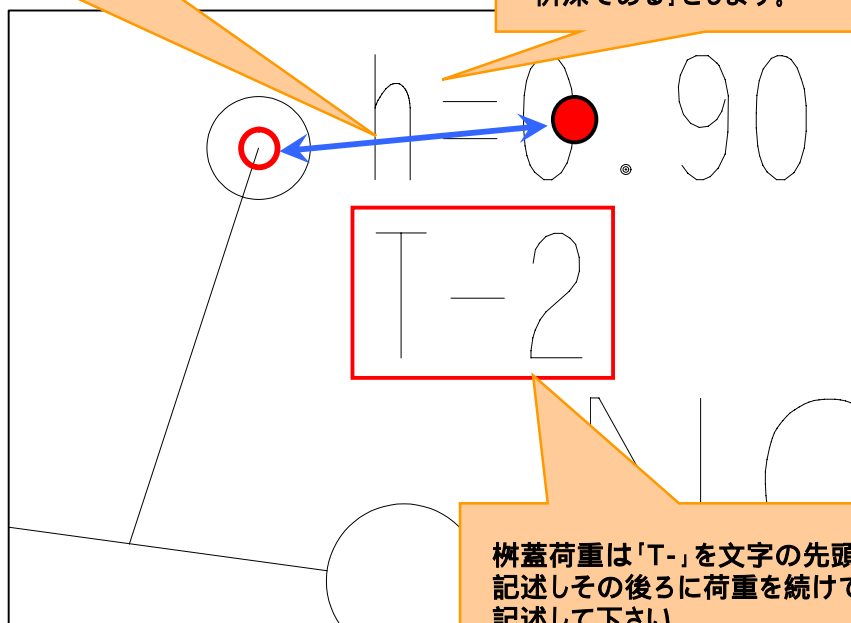
柵の凡例(円)は基本的には必須です。ただし、「取付管のみ施工」の場合は円の有無は問いません。  
 円の中に線分の表記がある場合は、それら線分を別レイヤに設定して下さい。

(2) 柵情報

柵情報に関して以下のような位置に記述して下さい。

柵深の文字中心点に最も直近の直線の先端を、取付管指定線の先端とし、それに該当する直線を取付管とします。

柵深はテキスト文字「h=」を数値の先頭に付与します。それにより、記載された数字を「柵深である」とします。



柵蓋荷重は「T-」を文字の先頭に記述しその後に荷重を続けて記述して下さい。  
 また、柵深の下側に位置するようして下さい。

# 第 5 章 縦断図標準化仕様

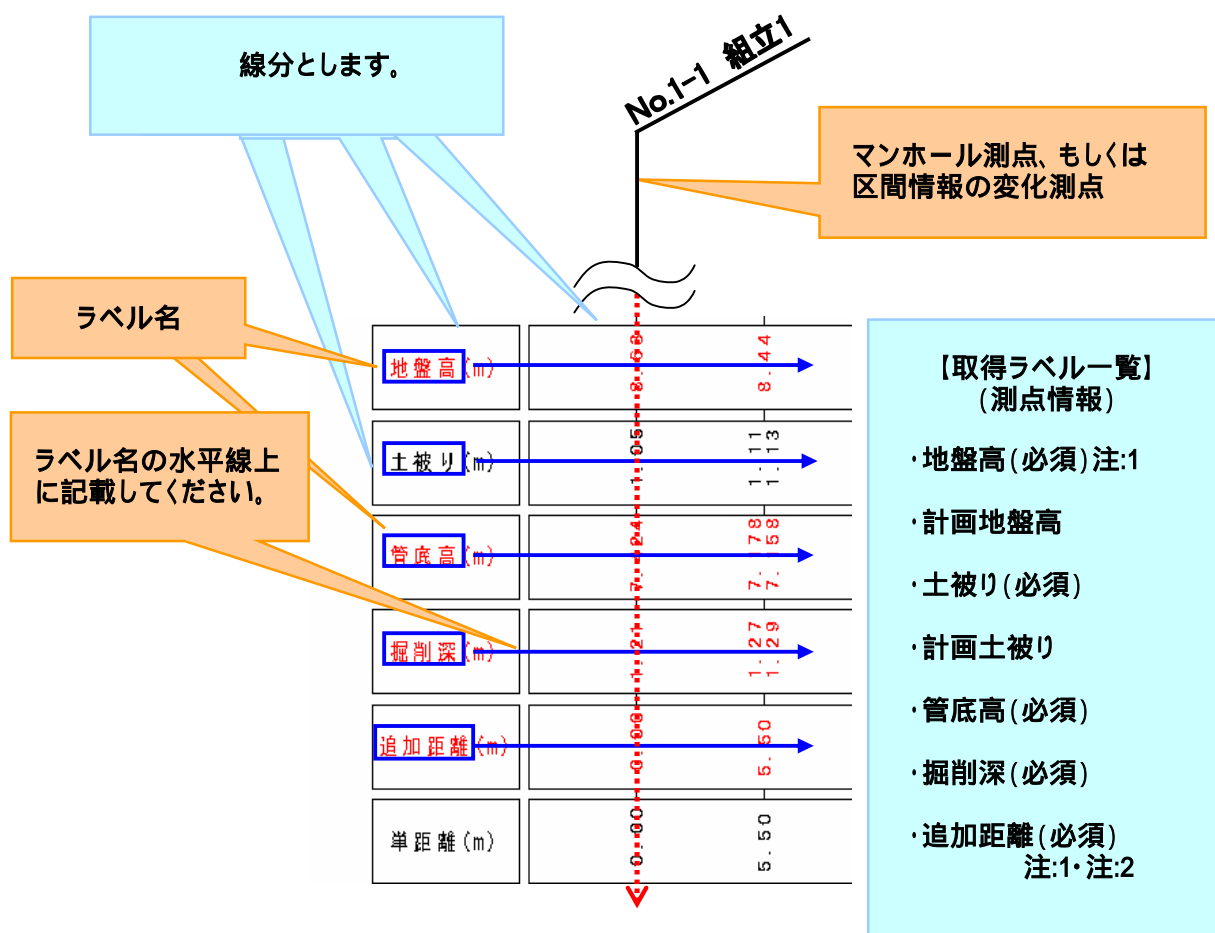
ここでは、縦断図の標準化仕様の詳細を記述します。  
これに従い、必要な条件を満たす縦断図を作成してください。

|                  |    |
|------------------|----|
| 1. 測 点           | 27 |
| (1) 測点情報         | 27 |
| (2) 測 点 名        | 28 |
| (3) マンホールに付加する情報 | 30 |
| (4) 接続先情報(流入・流出) | 32 |
| 2. 区 間           | 33 |
| (1) 記載方法         | 33 |
| (2) 各区間情報の記載方法   | 35 |
| (3) 圧送区間         | 37 |
| (4) 推進区間         | 38 |



(1) 測点情報

- ・ラベル名の水平延長線上にある数値は、各々の測点情報です。
- ・ラベル名は一文字列で記載してください。
- ・縦方向の位置は、マンホール測点または区間情報の変化測点の直下(鉛直線上) に数値があるように記載してください。  
(ただし、測点が多数あり、数値が帯に入りきらない場合を除きます。)



注:1 区間情報の変化測点について

- ・区間情報の変化測点にも必ず測点情報を記述して下さい。  
(補助単独・道路種類の変化点でマンホールではない測点等)

注:2 追加距離について

- ・追加距離は、必ず一枚の図面・1つの島ごとに「0.00」から増加させる必要があります。
- ・追加距離の増加方向は、工事ごとに必ず統一してください。  
(特別な理由がない限り、「左 右」方向に増加させてください。)

(2) 測 点 名

- ・ 旗上げに記載する文字は一文字列で記載します。
- ・ 以下の条件では、必ず旗上げが必要になります。
  1. マンホール測点
  2. 島ごとの最上流・最下流測点
  3. マンホール以外の測点で「施工・非施工」が分かれる点  
(今回施工と将来施工・既施工との境界など)
  4. マンホール以外の測点で「補助・単独」が分かれる点

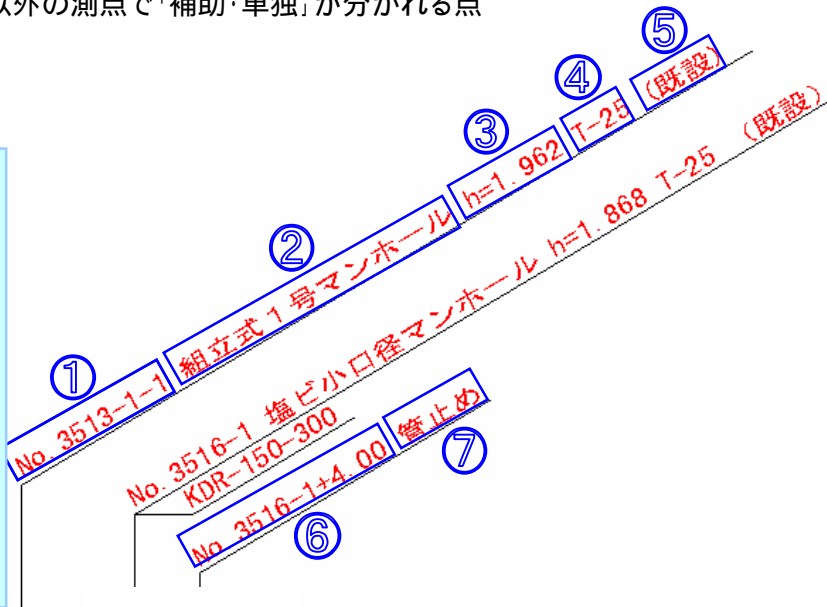
以下詳細条件です

**マンホール旗上げ**

測点番号(必須)  
マンホール種類(必須)  
マンホール深(必須)  
蓋荷重  
既設情報

**ダミー旗揚げ**

測点番号(必須)  
測点名(必須)



**共通** 下記の通り、スペース(以後 と記載)を入れて一文字列で記載してください。

**【例】 NO.681-2 塩ビマンホール h=1.170 T-14親子蓋 (既設)**

- ) 先頭に「No.」を書く。(NO・MH・M.などでも可。ただし統一すること。)
- ) 路線番号が「681」でマンホール番号が「1」であれば「681-1」と記載して下さい。  
すべてのページにわたってマンホール番号の重複を避けるための記載方法です。  
上記以外の方法でも同マンホール以外の番号が別番号であればこの限りではありません。

マンホール種類の記載は全ページにわたり、語句を必ず統一してください。  
マンホール種類の記載語句中では「( )」を使用してはいけません)

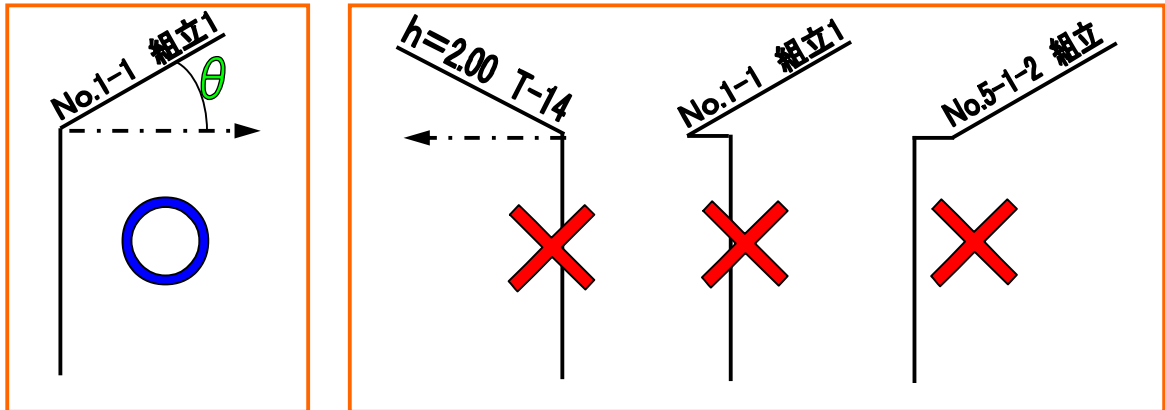
マンホール深の記載は「h= 」を付与し、メートル単位とします。単位mの記載は不要です。  
(深・H= などでも可。ただし統一すること。)

- ) 蓋荷重は「( )」無しで「T-2」「T-8」「T-14」「T-25」と記載してください。
  - ) 親子蓋の場合・・・荷重の直後に「親子蓋」と記載してください。
  - ) スリップ防止蓋の場合・・・荷重の直後に「スリップ防止」と記載してください。
- } 上記【例】参照  
無し

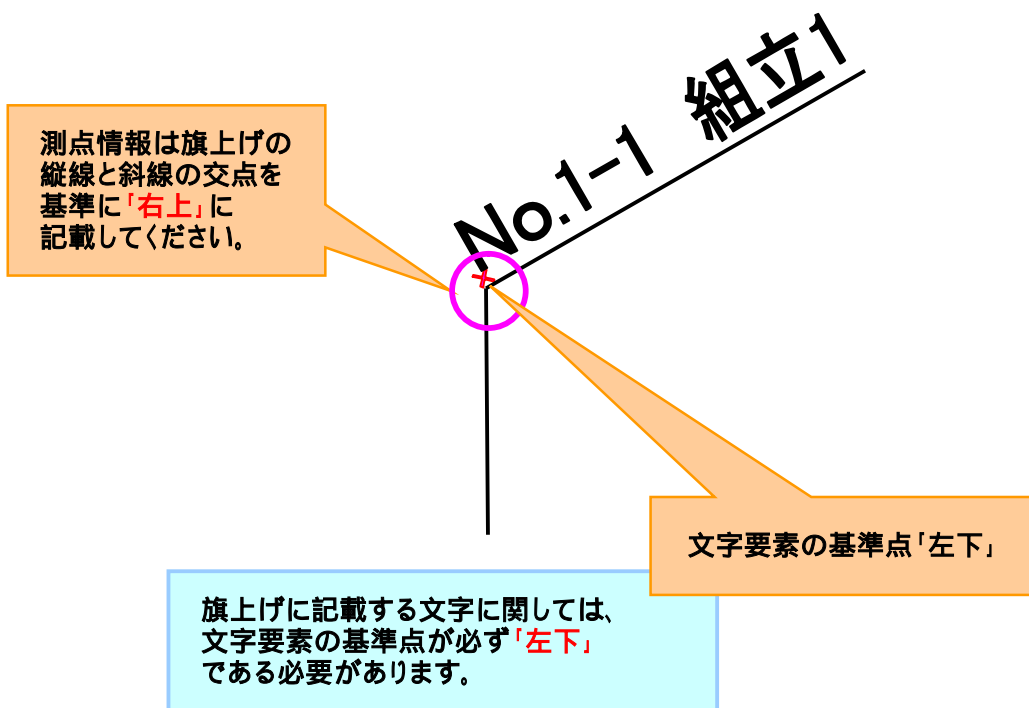
既設マンホールの記載は、「(既設)」と記載してください。 上記【例】参照・有り

管止めやマンホール無しの測点は、「管止め」「マンホール無し」「分割点」と記載してください。

- ・ 縦断図で旗上げされた測点名は、必ず平面図にも存在する必要があります。
- ・ 旗上げの形状は、縦線から直接右方向に角度線を上げてください。
- ・ 旗上げの斜線の角度は、工事毎の全図面で統一してください。



- ・ 測点名の文字列は以下のように配置してください。



(3) マンホールに付加する情報

- ・マンホールに付加する情報を記載するための記載方法です。
- ・すべて、一文字列で記載してください。
- ・付加する情報として以下があげられます。
  - 小口径マンホールのインバート
  - 副管
  - マンホールポンプ
  - 立坑
  - 同時埋設時の圧送管管底高

以下それぞれの記載方法です。

小口径マンホールのインバート

小口径マンホールには付加情報として、インバートを記載します。

- ・塩ビ小口径マンホール…すべて：「**インバート種類-本管径-マンホール径**」と記載して下さい。
- 例：90L-150-300 ・ KDR-200-300 など

インバート種類一覧

| 記載  | 詳細                   |
|-----|----------------------|
| KT  | 起点                   |
| KDR | 起点形ドロップ<br>(マルチ・フリー) |
| DR  | ドロップ                 |
| ST  | 中間点                  |
| 15L | 屈曲点15度               |
| 30L | 屈曲点30度               |
| 45L | 屈曲点45度               |
| 60L | 屈曲点60度               |
| 75L | 屈曲点75度               |
| 90L | 屈曲点90度               |
| 45Y | 45度合流                |
| 90Y | 90度合流                |

副 管

副管は「副管・副管径 副管高さ」と記載します。

例：副管 150 h=0.80  
内副管 200 h=1.20

- ・先頭に「副管」および「」をテキストで記載します。
- ・副管高の記載は「h=」を付与し、メートル単位とします。単位の記載は不要です。

副管の新規施工・将来待機・待機接続などは記載は不要です。

サービス管で直上流入型の副管を用いる場合は、以下のように記載します。

「副管・副管径 副管高さ (直上タイプ) h=」  
には流入管と流出管の段差です。

旗上げの形状はインバートと同様の2パターンです。

マンホールポンプ

マンホールポンプがある測点には「マンホールポンプ」と記載します。

旗上げの形状は  
インバートと同様  
の2パターンです。

No. 49-1-1 組立1号  
マンホールポンプ

立 坑

立坑がある測点には

「推進発進到達形式 立坑形式 立坑寸法」と記載します。

例：両発進立坑 鋼製ケーシング 2000

人孔到達または通過立坑は

「人孔到達」または「通過立坑」と記載します。

推進発進到達形式一覧

両発進立坑  
発進到達立坑  
発進横到達立坑  
(小判形立坑及び鋼矢板立坑の場合)  
両到達立坑  
片発進立坑  
片到達立坑

詳細は別紙の立坑記載詳細図参照

立坑形式一覧

鋼製ケーシング  
鋼矢板  
ライナープレート  
コンクリート製圧入構築式立坑  
コンクリート製沈下構築式立坑

・立坑寸法の記載は以下の通りです。ここは「ミリメートル記載」となります。(単位は不要)

) 円形の場合 : 2000 「」はテキストに限ります。(オブジェクト不可)

) 矩形(小判型)の場合 : L3200 × W2800

- ・ L に続いての寸法は縦断方向の長さを記載します。
- ・ W に続いての寸法は横断方向の長さを記載します

) コンクリート製圧入構築式立坑の場合

- ・ 1号 1.164
- ・ 2号 1.470
- ・ 3号 1.780

旗上げの形状は  
インバートと同様の  
2パターンです。

No. 401-5-1 組立2号マンホール h=5.998  
片発進立坑 鋼製ケーシング φ1500

同時埋設時の圧送管管底高

同時埋設区間の自然流下側測点(該当測点全て)には

「圧送管底 = 圧送管管底高」と記載します。

例：圧送管底 = 229.834

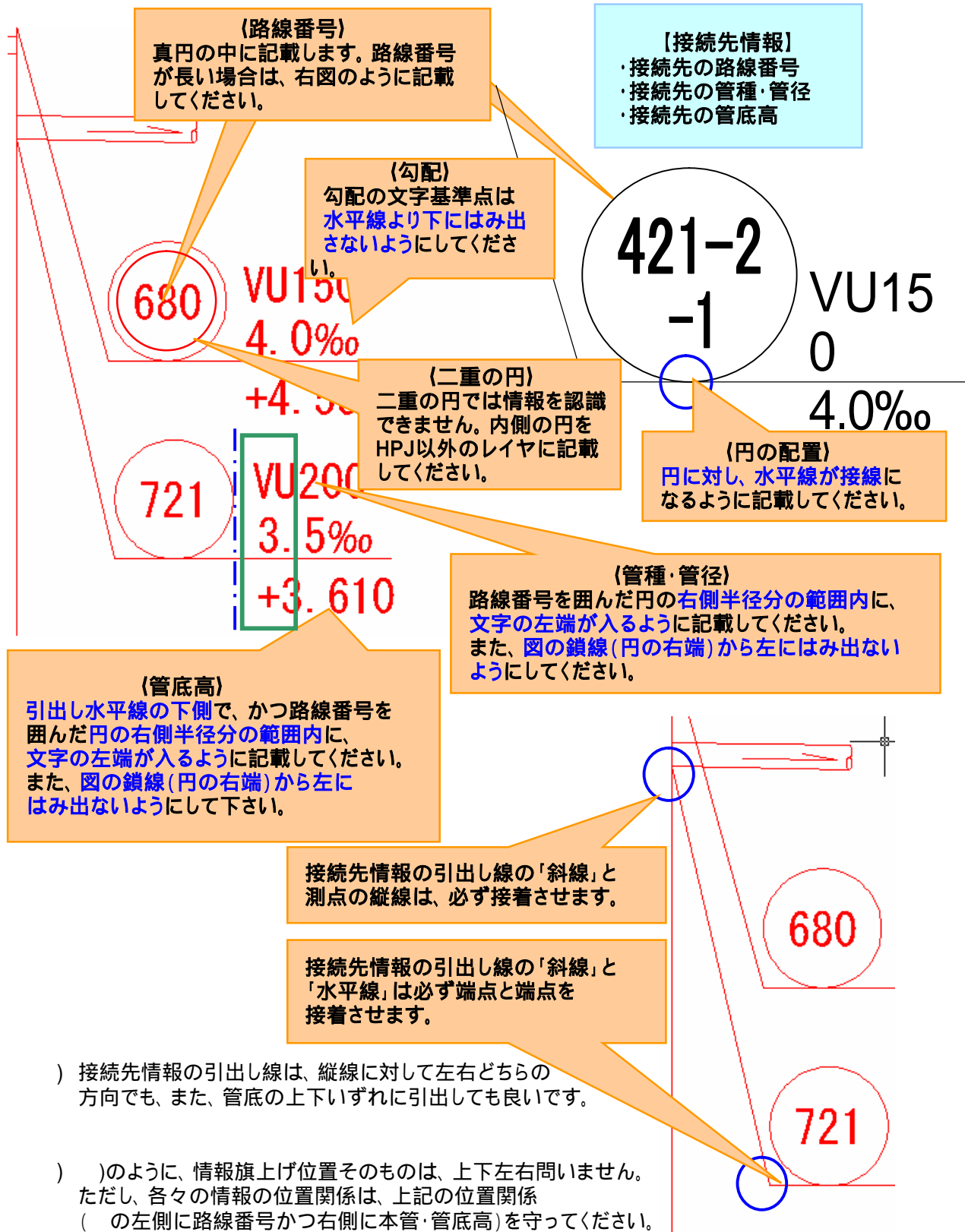
塩ビ製小  
No. 3708-1-1 組立1号  
KDR-200-300  
圧送管底 = 234.283  
No. 3708-1-1 組立1号  
圧送管底 = 234.373  
09.933

旗上げの形状は  
インバートと同様の  
2パターンです。



(4) 接続先情報(流入・流出)

接続先情報は、流入・流出の存在する測点の縦線に、引出し線にて記載します。



(1) 記載方法

区間情報には2種類の記載パターンがあります。

「CAD図面標準化東広島市特記仕様書【平縦編】」参照

「帯」によって記載するパターン

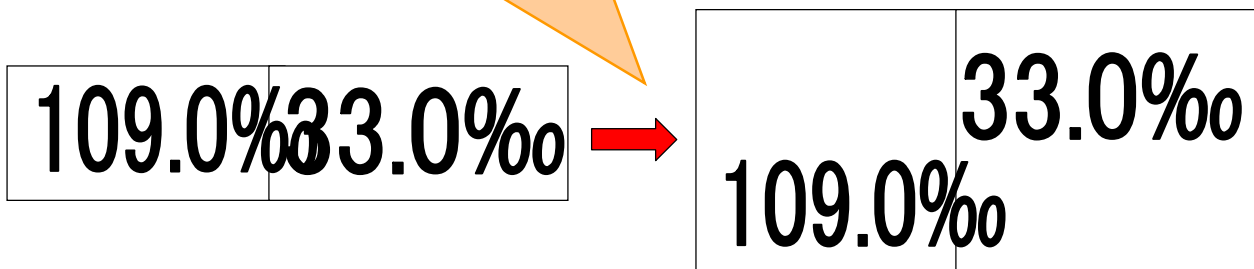
- ・測点情報と同様に「帯」と「ラベル」で記載します。
- ・ラベル名・帯内の情報は一文字列で記載してください。
- ・帯は、「グループ結合」や「ポリライン」は用いず、必ず「線分」で作成します。

|         |  |        |        |        |       |
|---------|--|--------|--------|--------|-------|
| ラベル     |  |        |        |        | 帯     |
| 路線番号    |  | 892a   |        |        |       |
| 管 径(mm) |  | VU150  |        |        |       |
| 勾 配(‰)  |  | 132.0‰ | 131.0‰ | 109.0‰ | 33.0‰ |
| 距 離(m)  |  | 9.00   | 5.00   | 14.00  | 3.50  |

|  |        |        |        |       |  |
|--|--------|--------|--------|-------|--|
|  |        | 892a   |        |       |  |
|  |        | VU150  |        |       |  |
|  | 132.0‰ | 131.0‰ | 109.0‰ | 33.0‰ |  |
|  | 9.00   | 5.00   | 14.00  | 3.50  |  |

帯内に文字の全てが入りきらない場合は、「文字の左端および文字の基準点」が入るようにします。

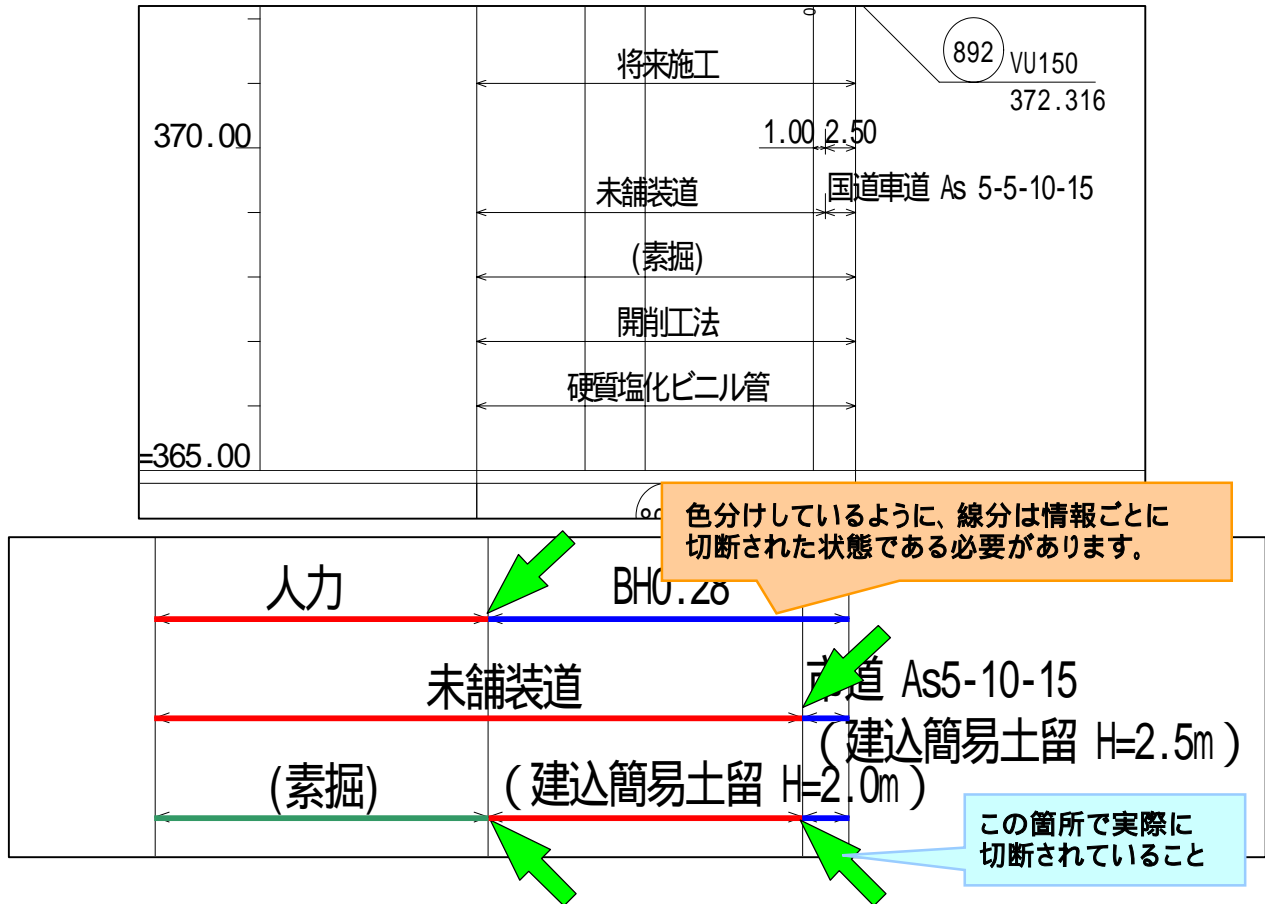
水平に並べることで、文字が重なってしまう場合は、帯の幅を広げて縦に配置して下さい。



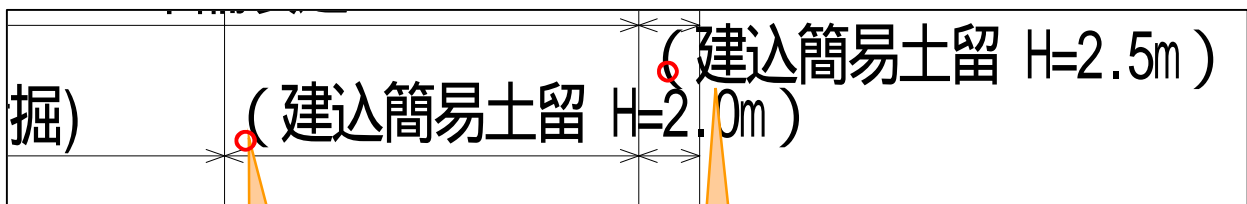
## 第 5 章 2. 区 間

### 矢印線(線分)によって記載する方法

線の引かれた範囲で情報を記載する方法です。



- ) 寸法線における矢印の形状大きさに指定はありません。  
 矢印線の線分のみを読みますので矢印自体は読んでません、  
 よって、測点の縦線から縦線までを線分でスナップさせる必要があります。



線分上に全ての文字が入りきらない場合は、文字の左端および基準点が該当する線分に入るように置きます。

文字が重なってしまう場合は、文字を上にならして2段書きなどで記載します。

(2) 各 区 間 情 報 の 記 載 方 法

各 区 間 情 報 ご と の 記 載 方 法 を 説 明 し て い ま す 。

路 線 番 号

ラベル名:「路線番号」「管番号」「管番」など使用可能

- ・「本管」や「勾配」を路線番号と同じ帯で記載する場合は、「円」で囲みます。(二重も可)
- ・「本管」や「勾配」を路線番号とは別の帯などで記載する場合は、「円」は不要です。
- ・**路線番号**を2段書きにする場合には、下段の文字の先頭を「-」ハイフンにします。

421-2

421-2  
-1

本 管 ( 開 削 )

ラベル名:「本管」「管種」「管径」など使用可能

- ・本管は「**管種+管径**」で記載します。(の有無は問いません)
- ・「一文字列・スペース無し」にて記載します。

例:「VU150」「HP300」「PRP 200」「PE75」「DCIP 100」

勾 配

ラベル名:「勾配」など使用可能

- ・勾配は「**数値+単位**」で記載します。(単位は「‰」を**テキスト文字**で入れます。)
  - ‰を図形、またはテキスト文字「%」と図形の楕円などで記載してはいけません)
- ・「一文字列・スペース無し」にて記載します。
- ・勾配は矢印線で記載する場合もラベルが必要です。

例:「3.5‰」「102.0‰」

区 間 距 離

ラベル名:「区間距離」「人孔間距離」など使用可能

- ・区間距離は「**数値のみ**」を記載します。
  - 単位mなどは入れてはいけません。
- ・区間距離は必ず「**マンホール間の距離**」を記載します。
- ・区間距離は矢印線で記載する場合もラベルが必要です。

例:「12.50」「100.00」

土 留 種 類

ラベル名:「土留種類」など使用可能

- ・土留種類は「**土留種類+土留高**」で記載します。
- ・「一文字列・スペース有り」にて記載します。
- ・「素掘」に関しては土留高の記載は不要です。
- ・土留高は数値の前に「H=」または「L=」を記載します。(大文字小文字・mの有無は問いません)
- ・土留高を指定しない場合、数値の記載は不要です。

例:「建込簡易土留 h=2.00」「軽量鋼矢板 L=5.00m」「素掘り」

支 保 段 数

ラベル名:必要なし

- ・支保段数を指定する場合は記載してください。
- ・「一文字列」にて記載します。(スペースの有無は問いません)

例:「支保工1段」「軽量支保工 2段」

**道路種類**                      **ラベル名:必要なし**

- ・道路種類は記載に制約はありません。
- ・「一文字列・スペース無し」にて記載します。

例: 「町道As」 「国道」 「歩道インターロッキング」 「町道歩道3-10」

**掘削・運搬・埋戻機種**   **ラベル名:必要なし**

- ・掘削・運搬・埋戻機種は必ず「BH」を先頭に記載します。(「=」の有無は問いません)
- ・人力の場合は「人力」とだけ記載します。
- ・「一文字列・スペース無し」にて記載します。
- ・バックホウは「山積み」にて記載します。

例: 「BH0.28」 「BH = 0.45」 「人力」

**単 独**                              **ラベル:名必要なし**

- ・「補助・単独」に関する記載が無い場合は「補助」と記載します。
- ・「単独」と記載してあることでそのスパンを単独区間とします。
- ・「一文字列・スペース無し」にて記載します。

例: 「単独」

**対象区間**                        **ラベル名:必要なし**

「今回工事」の図面の中に既施工や別工区など、今回数量を計上しない区間がある場合は指定する記載が必要です。

- ・「一文字列・スペース無し」にて記載します。

例: 「既施工」 「将来施工」 「別工区」 など

**【区間情報の記入必須項目】**

記入が無いとエラーを指摘されます。

以下、区間情報の記載が必須な項目です。

- ・路線番号
- ・本管
- ・勾配
- ・区間距離(マンホール間距離)
- ・道路種類
- ・土留種類(開削区間のみ)
- ・単独(無い場合は不要)
- ・対象区間(無い場合は不要)
- ・圧送区間(無い場合は不要)

**【区間情報の記入不要項目】**

以下は基本的に記載は不要です。。

- ・土留高
- ・支保段数
- ・掘削運搬機種
- ・埋戻機種

(3) 圧送区間

圧送区間にのみ該当する記載方法の説明をしています。

流水方向 ラベル名:必要なし

- ・ 圧送区間では流水方向を指定する必要があります。
- ・ 縦断図上、右から左へ圧送する区間は「 圧送方向 」と記載します。
- ・ 縦断図上、左から右へ圧送する区間は「 圧送方向 」と記載します。
- ・ 矢印「 」は必ずテキスト文字で記載してください。
- ・ 「一文字列・スペース無し」にて記載します。

例: 「 圧送方向 」 「 圧送方向 」 の2つのみ

圧送管同時埋設区間 ラベル名:必要なし

同時埋設区間では、同時埋設がある全ての区間に以下の記載が必要です。

- ・ 同時埋設区間には圧送区間・自然流下区間それぞれ以下のように記載します。

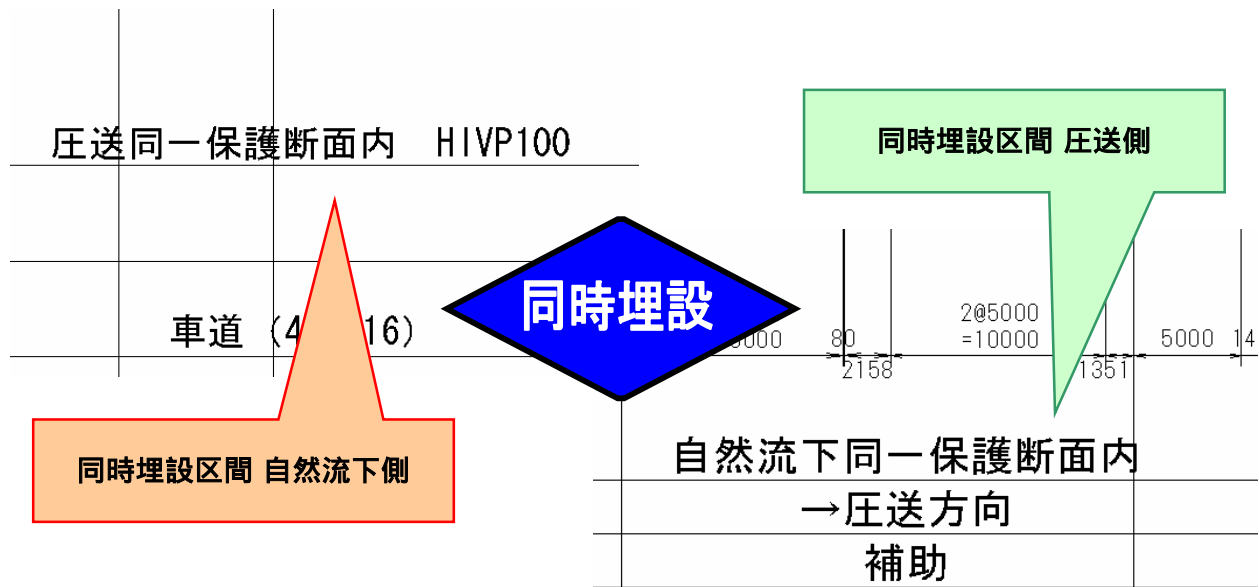
自然流下区間 「埋設タイプ 同時埋設先管種」  
 圧送区間 「埋設タイプ」

- ・ 「埋設タイプ」は以下のいずれかを記載します。

- ) 並列(同一保護断面内配管)の場合 自然流下区間… 圧送同一保護断面内
- ) 縦列(別保護断面配管)の場合 自然流下区間… 圧送別保護断面内
- ) 並列(同一保護断面内配管)の場合 圧送区間… 自然流下同一保護断面内
- ) 縦列(別保護断面配管)の場合 圧送区間… 自然流下別保護断面内

- ・ 「同時埋設先管種」では、同時埋設先の管種・管径を示します。  
 「一文字列・スペース無し」にて記載します。  
 「 」は入れてはいけません。

例: 「 圧送同一保護断面内 PE75 」  
 「 自然流下別保護断面内 」



(4) 推進区間

推進工法

ラベル名: 必要なし

- ・推進区間では工法を以下のように記載します。  
「推進管の種類 掘削及び排土方式 管の布設方法」
- ・「一文字列・スペース有り」にて記載します。

例: 「低耐荷力方式 オーガ方式 一工程式」

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>【推進管種類一覧】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高耐荷力方式</li> <li>・低耐荷力方式</li> <li>・鋼製さや管方式</li> </ul> | <p><b>【掘削・排土方式一覧】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圧入方式</li> <li>・オーガ方式</li> <li>・泥水方式</li> <li>・泥土圧方式</li> <li>・ボーリング方式<br/>(鋼製さや管方式のみ)</li> </ul> | <p><b>【管の布設方法一覧】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一工程式</li> <li>・二工程式</li> <li>・一重ケーシング式<br/>(ボーリング方式のみ)</li> <li>・二重ケーシング式<br/>(ボーリング方式のみ)</li> </ul> |
|--|--|---|

推進管

ラベル名: 開削本管と同じ帯・矢印線を使用

「一文字列」にて記載します。

1. 低耐荷力方式

下水道推進工法用硬質塩化ビニル管 リブカー付直管 250～300 L=2.0m、1.0m

例: STRS 250 L=1.0

下水道推進工法用硬質塩化ビニル管 SUSカー付直管 200～450 L=2.0m、1.0m

例: SUSR 200 L=1.0

下水道推進工法用硬質塩化ビニル管 スパイラル継手付直管 150～450 L=2.0m、1.0m、0.8m

例: SSPS 150 L=1.0

2. 高耐荷力方式

下水道小 径管推進工法用鉄筋コンクリート管( 200～700 1種 or 2種 50N or 70N )

例: HP 250 L=2.0 1種50N

注: 1スパン内で上流又は下流側において異なる管種を使用している場合。

例: HP 250 L=2.0 1種50N(上流 2種L=1.0×1本)

下水道推進工法用レジンコンクリート管( 200～700 RS or RM )

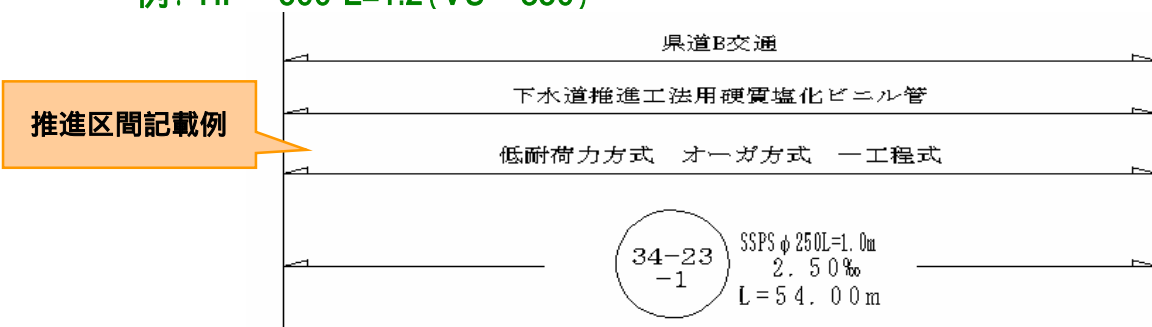
例: RS 300 L=2.0

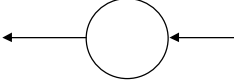
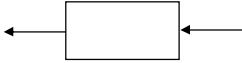

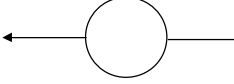


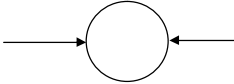

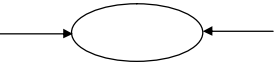
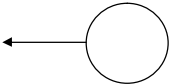
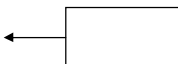

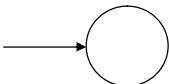


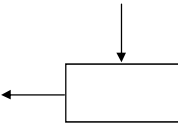
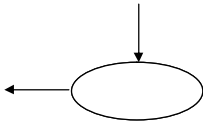
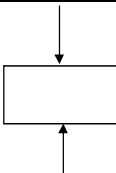
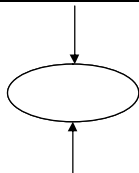
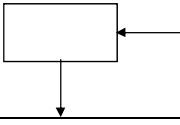
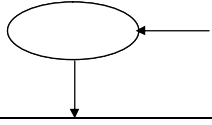
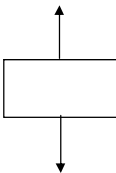
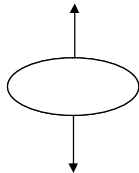
例: RM 290 L=2.0

3. 鋼製さや管方式

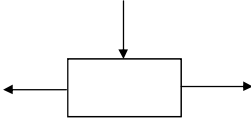
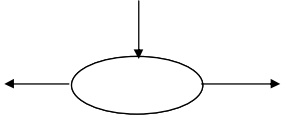
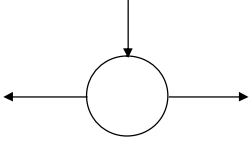
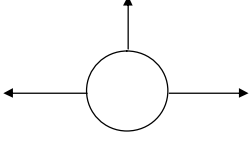
例: STK 300 L=1.0(VU 150)

例: HP 600 L=1.2(VU 350)



| 発進到達形式  | 鋼製ケーシング<br>ライナープレート   | 鋼矢板立坑  | 小判形ライナープレート   |
|---------|---|--|---|
| 発進到達立坑  |    |    |    |
| 両発進立坑   |    |    |    |
| 両到達立坑   |    |    |    |
| 片発進立坑   |    |    |    |
| 片到達立坑   |  |  |  |
| 発進横到達立坑 |   |  |  |
| 両横到達立坑  |   |  |  |
| 横発進到達立坑 |   |  |  |
| 両横発進立坑  |   |  |  |



| 発進到達形式   | 鋼製ケーシング<br>ライナープレート   | 鋼矢板立坑  | 小判形ライナープレート   |
|----------|---|--|---|
| 両発進横到達立坑 |   |  |  |
| 両発進到達立坑  |  |  |   |
| 三方向発進立坑  |  |  |   |

横発進、横到達のように「横」をつけることによって立坑の短辺方向に発進あるいは到達するように処理を行う。

鋼矢板 L3200 × W2800

Lの後に続く数値は長辺方向の数値を記入する。 Wの後に続く数値は短辺方向の数値を記入する。

ライナープレート L5326 × W2500

Lの後に続く数値は長辺方向の数値を記入する。 Wの後に続く数値は短辺方向の数値を記入する。

鋼製ケーシング 2000

寸法の単位はmmとする。

| 検定カテゴリー「CAD」          |             |                             |         |          |   |
|-----------------------|-------------|-----------------------------|---------|----------|---|
| 会社名                   | 認証番号        | ソフトウェア名称                    | ver.    | 対応表(制限等) | 最終更新                                    |
| (株)ビッグバン              | 11201010001 | BV FILE                     | 5       |          | 2004/02/20 認証                           |
|                       | 11201010005 | BV CAD                      | 5       |          | 2004/03/01 認証                           |
|                       | 11201010006 | BV CAD/LT                   | 5       |          | 2004/03/01 認証                           |
|                       | 11202010025 | BV CAD/SXF                  | 5       |          | 2004/08/23 認証                           |
| (株)OSK                | 11201020002 | EXPERT-CAD                  | 8.06    | 制限事項あり   | 2004/05/25 認証                           |
| 川田テクノシステム<br>(株)      | 11202030031 | V-nas シリーズ【一<br>覧】          | 8       |          | 2004/12/13 認証                           |
| ダイナウェアソリュー<br>ションズ(株) | 11203040060 | DynaCAD 官公庁版                | 9       |          | 2004/11/22 認証<br>(2004/01/14<br>名称一部変更) |
|                       | 11203040061 | DynaCAD土木                   | 9       |          | 2004/11/22 認証                           |
|                       | 11203040063 | DynaCAD                     | 9       |          | 2004/12/13 認証                           |
|                       | 11204040069 | 図面管理システム<br>by DynaCAD土木    | 2       |          | 2004/11/22 認証                           |
| (株)フォーラムエイト           | 11201050009 | UC-Draw Ver.3               | 3.4     | 制限事項あり   | 2003/12/22 認証                           |
| (株)建設システム             | 11201060010 | DC-CAD2                     | 5       |          | 2004/05/25 認証                           |
| 福井コンピュータ<br>(株)       | 11203070057 | BLUETREND V                 | 1       |          | 2004/02/20 認証                           |
|                       | 11201070012 | EX-TREND Win                | 4       |          | 2004/03/01 認証                           |
|                       | 11202070035 | TRENDff                     | 2       |          | 2004/02/20 認証                           |
|                       | 11204070067 | ARCHITRENDff                | 1       |          | 2004/04/19 認証                           |
|                       | 11204070090 | EX-TREND 武蔵<br>土木CAD        | 1       |          | 2004/09/24 認証                           |
| (株)デザイン・クリ<br>エーション   | 11202090014 | CADPAC-FUSION               | 6       | 制限事項あり   | 2004/05/25 認証                           |
|                       | 11202090019 | CADPAC-CIVIL                | 4       | 制限事項あり   | 2004/07/20 認証                           |
|                       | 11204090087 | CADPAC -<br>CREATOR 2D      | 6       | 制限事項あり   | 2004/08/23 認証                           |
| (株)フォトン               | 11202100017 | 図脳デジタルシート<br>for Civil      | 6       | 制限事項あり   | 2005/01/14 認証                           |
|                       | 11204100084 | 図脳デジタルシート<br>for Civil Lite | 6       | 制限事項あり   | 2004/06/11 認証                           |
|                       | 11202100026 | 図脳RAPID13PRO                | 13      | 制限事項あり   | 2004/09/24 認証                           |
| (株)シビル・デザイン           | 11202110020 | 陣                           | 7       |          | 2004/06/11 認証                           |
| (株)シビルソフト開<br>発       | 11202120021 | Civil Rapid                 | 4       | 制限事項あり   | 2004/09/10<br>制限事項一部削除                  |
|                       | 11202120022 | Pipe Rapid                  | 4       | 制限事項あり   | 2004/09/10<br>制限事項一部削除                  |
|                       | 11202120023 | Rapid Draw 2003             | 4       | 制限事項あり   | 2004/09/10<br>制限事項一部削除                  |
|                       | 11202120029 | Rapid Draw 2003<br>Plus     | 4       | 制限事項あり   | 2004/09/10<br>制限事項一部削除                  |
|                       | 11204140080 | CIVIL-LT 2004               | 7.1     | 制限事項あり   | 2004/05/25 認証                           |
| (株)構造計画研究<br>所        | 11204140066 | CIVIL-DX                    | 1.2     | 制限事項あり   | 2004/11/22<br>制限事項一部削除                  |
|                       | 11204140093 | CIVIL-DX                    | 3.1     | 制限事項あり   | 2004/11/22 認証                           |
| アンドール(株)              | 11202150032 | DRAFTZONE                   | 1.2     | 制限事項あり   | 2004/06/11 認証                           |
| (株)ピースネット             | 11203160036 | BEST-CAD                    | 5       |          | 2003/01/20 認証                           |
| アイサンテクノロジー<br>(株)     | 11203170037 | CVL-ManagerM@TE             | 3.0.0.0 | 制限事項あり   | 2004/09/24 認証                           |
|                       | 11204170077 | CVL-ManagerM@TE<br>土木CAD    | 2.1     | 制限事項あり   | 2004/05/25 認証                           |
|                       | 11204170091 | CVL-ManagerM@TE<br>施工管理     | 2.2     | 制限事項あり   | 2004/10/15 認証                           |
|                       | 11203170055 | Wingneo                     | 3       | 制限事項あり   | 2005/01/14 認証                           |
| (株)マイゾックス             | 11203180040 | TeamGEO2                    | 4       | 制限事項あり   | 2004/02/20 認証                           |
|                       | 11204180071 | TG Designer                 | 1       | 制限事項あり   | 2004/01/28<br>制限事項一部追加                  |

| 検定カテゴリー「CAD」                     |             |   |        |                        |                                     |
|----------------------------------|-------------|---|--------|------------------------|-------------------------------------|
| 会社名                              | 認証番号        | ソフトウェア名称  | ver.   | 対応表(制限等)               | 最終更新                                |
| <a href="#">ダイキン工業(株)</a>        | 11203190041 | FILDER  | 3      | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/08/23 認証                       |
| <a href="#">エアンドエー(株)</a>        | 11203200042 | VectorWorks 11.0.1<br>Windows版                                      | 11.0.1 | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/11/22 認証                       |
| <a href="#">(株)ピーイング</a>         | 11203210043 | Civil Planner   | 1.1    | <a href="#">制限事項あり</a> | 2003/02/24 認証                       |
| <a href="#">(株)システムアイ</a>        | 11203220048 | HandyCAD Mark   | 2      |                        | 2004/09/10<br>制限事項削除                |
| <a href="#">(株)ウチダデータ</a>        | 11203230049 | Mercury-Win<br>図化編集   | 4.2    | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/07/20 認証                       |
| <a href="#">(株)四電工</a>           | 11203240050 | <a href="#">CADEWA Evolutionシリーズ【一覧】</a>                            | 3      | <a href="#">制限事項あり</a> | 2005/01/14 認証                       |
| <a href="#">イー・エム・エス(株)</a>      | 11203250052 | CI-CAD2   | 5      |                        | 2004/10/15 認証                       |
| <a href="#">富士電機ITソリューション(株)</a> | 11203260058 | IJ IntelliCAD.SXF   | 1      | <a href="#">制限事項あり</a> | 2003/09/04 認証                       |
| <a href="#">(株)エスエイピー</a>        | 11204300068 | PAVE-CAD  | 1.2    | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/07/20 認証                       |
|                                  | 11204310073 | DRA-CAD5  | -      | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/04/19 認証                       |
|                                  | 11204310083 | DRA-CAD5 LE   | -      | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/06/11 認証                       |
| <a href="#">(株)建築ピボット</a>        | 11204310085 | <a href="#">DRA-CAD6シリーズ【一覧】</a>                                    | -      | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/07/20 認証                       |
| <a href="#">(株)サヌキットジャパン</a>     | 11204330078 | ガリレオ  | 7      | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/05/25 認証                       |
| <a href="#">(株)ニコン・トリンプ</a>      | 11204340079 | CADベース+   | 1.2    | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/05/25 認証                       |
|                                  | 11204320082 | 水道Master  | 3.2    | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/06/11 認証                       |
|                                  | 11204320086 | ANDES電設Win  | 3.2    | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/08/23 認証                       |
| <a href="#">(株)システムズナカシマ</a>     | 11204320089 | 本管Master  | 3.2    | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/09/24 認証                       |
|                                  | 11204320094 | ANDES ProWin  | 3.2    | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/11/22 認証                       |
|                                  | 11203280064 | AutoCAD 2005<br>(+ SXFデータ<br>トランスレータ 2004)                          | -      | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/08/23 認証<br>コンバータより<br>カテゴリー変更 |
| <a href="#">オートデスク(株)</a>        | 11204280088 | <a href="#">Autodesk インダストリーシリーズ 2005 (+ SXFデータトランスレータ2004)【一覧】</a> | -      | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/11/22<br>シリーズに追加               |
| <a href="#">タナックシステム(株)</a>      | 11202350015 | <a href="#">CADCity シリーズ【一覧】</a>                                    | 8      | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/09/24 認証<br>デザイン・クリエイションより移管   |
| <a href="#">(株)富士通四国システムズ</a>    | 11204360092 | EDRAS for<br>Windows  | 3      | <a href="#">制限事項あり</a> | 2004/10/15                          |